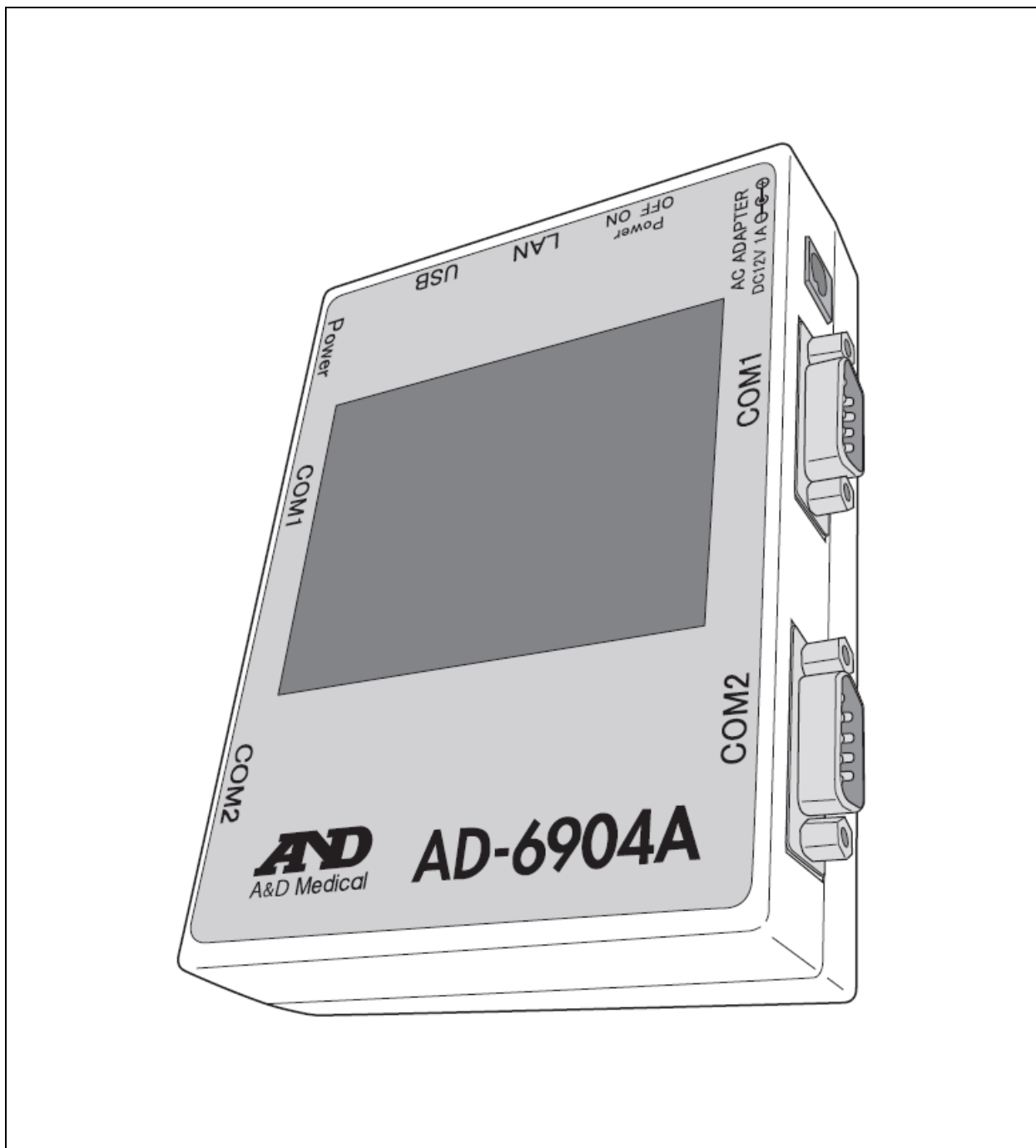


データ収集アダプタ

AD-6904A

取扱説明書



AND
A&D Medical

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2016 株式会社 エー・アンド・デイ




株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

□ 本書に記載されている商品名および社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。




注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表記しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

 危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
	⊘記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

その他



お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。
-------------	-------------------



この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項




健診アダプタ AD-6904A を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他、被検者および操作者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置場所および保管場所は、次の点に注意してください。



 危険	
	<ul style="list-style-type: none">■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

 注意	
	<p>下記の使用環境、保管場所でご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 水のかからない場所。■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。■ 設置：温度+10℃～+40℃、湿度 30%～85%RH（結露なきこと）の場所。■ 保管：温度-20℃～+60℃、湿度 10%～95%RH（結露なきこと）の場所。■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。




2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器が安全かつ正確に動作すること。■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。■ 他の機器との併用は正確な診断を誤らせたり、危険な状態になる恐れがあるので、接続の際は安全性を再点検すること。■ 他の医療用機器との相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。■ 付属品やオプション品に添付された取扱説明書も熟読してから使用すること。 本書にはそれらの注意事項は記載していません。■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
	<ul style="list-style-type: none">■ 通信ケーブルコネクタに指定の測定器以外は接続しないこと。



3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。■ 周辺で携帯電話を使用しないこと。誤動作の原因になります。




4. 機器の使用後は次の点を確認してください。



 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	<ul style="list-style-type: none">■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ 機器の動作を止め、電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜くこと。■ 機器に、「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに当社までご連絡ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

 警告	
	<ul style="list-style-type: none">■ お手入れの際は、感電防止のため、本機の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機の分解、および改造はしないでください。 火災・感電の原因になります。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 手入れの際は乾燥した柔らかい布を使用すること。シンナー、ベンジン等揮発性の液体やぬれ雑巾等は使用しないこと。

7. 強い電磁波により誤動作を起こすことがありますので注意してください。

注意

- 本機は、周囲に強い電磁波などが存在すると、誤動作を起こすことがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。

次に一般的な原因と対策の一例をあげます。

- 携帯電話等の使用
電波によって予期せぬ誤動作をする可能性があります。
 - 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器などの電源を切るよう指導する。
- 電源コンセントを伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合
 - 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策する。
 - 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。
 - 他の電源コンセントから電源を取る。
- 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）
 - 装置を使用する前に、測定者、被検者とも十分に放電を行う。
 - 部屋を加湿する。
- 落雷などによる影響
近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。
 - 無停電電源装置（JIS T 0601-1 を満足している機種）を使用する。

8. 環境保護

注意

- 機器を廃棄するときは、機器内にある内蔵電池（リチウム電池）を外してください。

⚠ 注意



- 本機は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

- 本機は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店に連絡してください。なお、将来本機を輸送する場合は梱包材を保管しておいてください。

ご使用前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。

万一、内容物に不足がございました場合には、お買い求め頂いた販売店または当社営業所にお問い合わせください。

オプション品は「9. 7. オプション」を参照してください。

本体.....	1
標準付属品	
AC アダプタ（型名：1TB288）.....	1 本
通信ケーブル（型名：1K04090-2000）.....	1 本
取扱説明書（本書）.....	1 冊
IP アドレスシール.....	1 枚
保護シート.....	1 枚

目次

1. はじめに.....	4
2. 特長	4
3. 仕様	5
3.1. 本体仕様	5
4. 各部の名称.....	6
4.1. 正面図.....	6
4.2. 上面図.....	6
4.3. 側面図.....	7
5. システム構成例	8
6. 使用前の準備.....	9
6.1. データ収集PCの準備と設定	9
6.1.1. 推奨スペック	9
6.1.2. ネットワークアドレスの設定.....	9
6.1.3. スリープ設定の解除	9
6.1.4. (補足)ファイルとフォルダ	10
6.2. 機器の接続	11
6.2.1. IDリーダーと測定検査機器を接続する場合	11
6.2.2. 測定検査機器を2台接続する場合	11
6.3. 測定検査機器の設定	11
6.4. LAN接続.....	11
6.5. 電源の接続	12
6.6. 電源投入と切断	12
6.7. 始業前点検	12
6.7.1. はじめに.....	12
6.7.2. 電源投入前.....	12
6.7.3. 電源投入後.....	13
6.7.4. 時刻設定の確認.....	13
7. AD-6904Aの画面と操作.....	14
7.1. 起動画面	14
7.2. 測定画面	15
7.2.1. 共通項目	15
7.2.2. 各測定画面.....	16
7.2.3. 測定手順	23

7.2.4.	IDリーダの操作	25
7.3.	設定画面	26
7.3.1.	システム設定画面	27
7.3.2.	時刻設定画面	29
7.3.3.	ネットワーク設定画面	30
7.3.4.	接続機器設定画面	32
7.3.5.	接続機器選択画面	33
7.3.6.	ID詳細設定画面	35
7.3.7.	画面表示設定画面	37
7.4.	再起動画面	40
8.	データ収集プログラムの画面と操作	41
8.1.	データ収集プログラムの起動と終了	41
8.2.	データ収集アダプタ接続状況の表示	44
8.3.	測定結果確認画面	44
8.4.	履歴画面	47
8.5.	属性確認画面	48
8.6.	出力画面	49
8.7.	保守画面	51
8.7.1.	データ収集アダプタ内のデータ回収	51
8.7.2.	PCから上位システムへのデータ再送	52
8.8.	設定画面	54
8.8.1.	結果出力フォルダ／属性入力フォルダ	54
8.8.2.	IDリーダ設定	55
8.8.3.	測定値選択処理	56
8.8.4.	測定結果確認画面の表示時間設定	56
8.8.5.	受診者IDの桁設定	56
8.8.6.	眼科専用表示の切り替え	57
8.8.7.	測定結果確認画面の表示ON／OFF	58
8.8.8.	結果ファイルの出力形式選択	59
8.8.9.	結果ファイル名設定	59
8.8.10.	制御ファイル使用の切り替え	60
8.8.11.	ダブルクォーテーション付与の切り替え	60
8.8.12.	視力0.1未満の出力文字列設定	60
8.8.13.	設定の更新	61
8.9.	ファイルフォーマット設定	62
8.10.	検査コード設定	63
9.	保守	65
9.1.	保守点検と安全管理	65
9.2.	清掃	65

9.3.	修理を依頼される前に	65
9.4.	エラーメッセージ.....	67
9.4.1.	AD-6904Aエラーメッセージ	67
9.4.2.	データ収集プログラムエラーメッセージ.....	68
9.5.	廃棄	69
9.6.	アクセサリ.....	69
9.7.	オプション	69
10.	アフターサービス・保証	70
10.1.	保証期間	70
10.2.	保証規定	70

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのデータ収集アダプタ AD-6904A をお買い上げくださりまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は AD-6904A の接続、設定ならびに、保守、仕様について記述したものです。本機をご理解いただき、十分にご活用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

2. 特長

データ収集アダプタ AD-6904A は、健康診断や人間ドックなどで自動化機器から得た測定結果を自動収集するためのデータ収集装置です。ID リーダや測定検査機器類を1台ずつ接続できます。接続する機器の構成は、本機の設定画面から変更が可能です。正しく測定されたデータは、本機の画面に表示され、内蔵メモリにバックアップされます。その後、LAN を経由してデータ収集 PC へ送信されます。

- 原則として、初期設定後は操作が不要です。
- コンパクトで軽量です。
- 本機の画面にて、受信した測定データの確認が可能です。
- 測定データは、自動的に本機の内蔵メモリおよびデータ収集 PC 上に二重バックアップされます。
- 一部の ID リーダを直接接続できる測定検査機器では、2 台の測定検査機器を接続することが可能です。
- 本機を導入することで、手入力や転記作業が不要になり、担当者の負担軽減、業務の効率化、データ信頼性の向上に繋がります。

3. 仕様

3.1. 本体仕様

項目	仕様
型名	AD-6904A
外形寸法	約 90mm(W) × 34mm(D) × 124mm(H) 突起部を除く
質量	約 260g
電源	ACアダプタ :1TB288 入力 :AC100V 50-60Hz
表示	バックライト付き TFT カラー液晶表示 (3.5 インチサイズ、320 × 240 dot) 青色 LED × 1 電源 緑色 LED × 2 データ通信
本体メモリ	測定データバックアップ最大 100 データ (1 日 1 ファイルで最大 100 日分まで)
通信機能	シリアル通信 :RS-232C(EIA-574)規格準拠(COM2 のみ) LAN 通信 :100BASE-TX 規格準拠
動作環境	温度: +10~ +40°C 湿度: 30~85%RH 気圧: 70~107kPa
保存環境	温度: -20~ +60°C 湿度: 10~95%RH 気圧: 70~107kPa
耐用年数	設置後 5 年

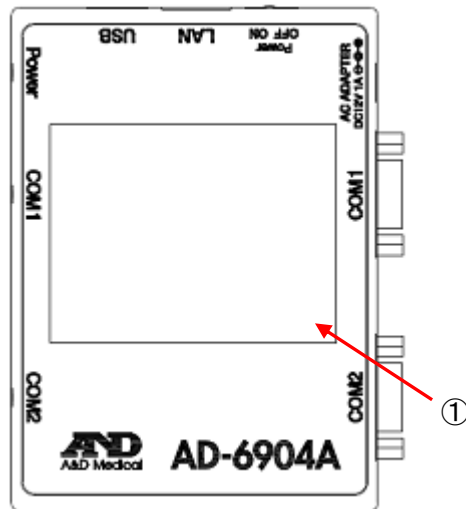
注意



- COM1 は RS-232C(EIA-574)規格に準拠しておりません。9 ピンが電源 5V となっております。

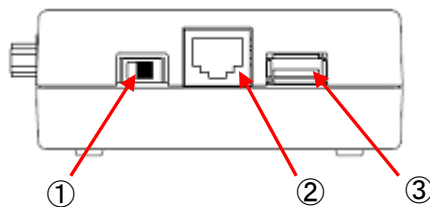
4. 各部の名称

4.1. 正面図



番号	名称	説明
①	タッチパネル表示部	測定データの表示および各種設定を行います。 タッチパネル液晶ディスプレイです。

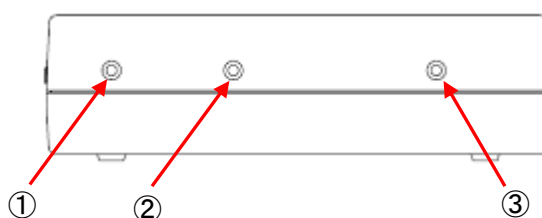
4.2. 上面図



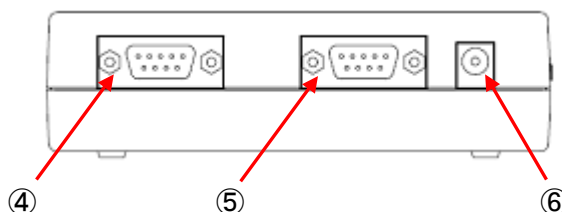
番号	名称	説明
①	電源スイッチ	電源の ON/OFF スイッチです。
②	LAN 通信コネクタ	LAN ケーブルを接続します。
③	USB コネクタ	使用しないでください。メンテナンス用です。

4.3. 側面図

左側面



右側面



番号	名称	説明
①	電源ランプ	電源 ON 時に LED が点灯します。
②	COM1 ランプ	COM1 のデータ受信時に LED が点灯および点滅します。 データが正常の場合は点灯、データに異常がある場合は点滅します。
③	COM2 ランプ	COM2 のデータ受信時に LED が点灯および点滅します。 データが正常の場合は点灯、データに異常がある場合は点滅します。
④	COM2 通信コネクタ	シリアルケーブルを接続します。
⑤	COM1 通信コネクタ	シリアルケーブルを接続します。
⑥	電源コネクタ	付属の AC アダプタケーブルを接続します。

⚠ 注意

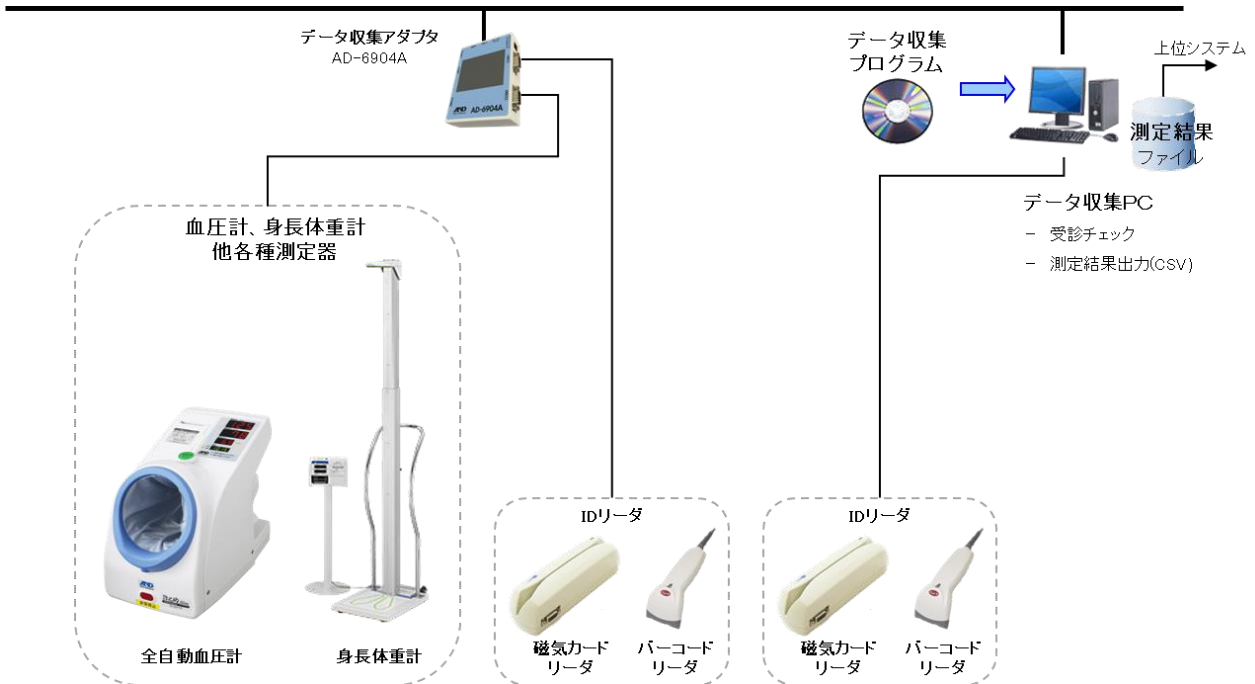


- COM1 の 9 ピンは電源 5V となっておりますのでご注意ください。
- ID リーダが給電に対応している場合、ID リーダの電源は外してください。

5. システム構成例

データ収集アダプタ AD-6904A の基本的なシステム構成例を以下に示します。

・システム構成例



- データ収集アダプタ AD-6904A に ID リーダ(バーコードリーダや磁気カードリーダなど)と測定検査機器(血圧計や身長体重計など)を接続します。
- データ収集アダプタ AD-6904A をデータ収集 PC と同一のネットワークに接続します。(データ収集 PC とは、付属のデータ収集プログラムをインストールした PC のことです。)
- ID を読み込み、測定を行います。
- データ収集アダプタ AD-6904A により、ID と測定データが結び付けられ、データ収集プログラムに送信されます。
- ID 情報を含む測定データは、データ収集 PC に蓄積されます。
- データ収集プログラムは、蓄積されたデータを CSV ファイルで出力することが可能です。
- ID 情報により、患者情報を参照することが可能です。

6. 使用前の準備

本書巻頭の使用上の注意事項を参照し、適切な場所に安全かつ正しい方法で機器本体を設置します。

6.1. データ収集PCの準備と設定

6.1.1. 推奨スペック

データ収集プログラムをセットアップする PC は以下のスペックを推奨します。

項目	推奨スペック
OS	Microsoft Windows 7, 8.1, 10 Professional(Pro) 日本語版 ※ ドメインに参加しない場合、Home Premium(Home)でも可能
CPU	1GHz 以上、2 コア以上の 32bit または 64bit のプロセッサ(最低動作環境)
メモリ	2GB 以上(最低動作環境)
HDD	アプリケーション用に 1GB 以上
VIDEO	1024×768 が表示可能なコントローラ
MONITOR	1024×768(XGA)が表示可能な 13 インチ以上のモニタ
NETWORK	100BASE-TX が使用可能なネットワークコントローラおよび RJ-45 1 ポート
その他	入力機器: キーボード、マウス ソフトインストール用の USB ポート 他用途での使用および他アプリケーションの同時使用は不可 セキュリティソフトは必要に応じて準備のこと

6.1.2. ネットワークアドレスの設定

データ収集プログラムをインストールした PC を用意し、まずネットワークアドレスの設定を行います。

■ 以下は一例です。

IP アドレス	192. 168. 0. 100
サブネットマスク	255. 255. 255. 0
デフォルトゲートウェイ	0. 0. 0. 0

AD-6904A には、データ収集 PC の IP アドレスを設定する必要があります。AD-6904A の出荷時のデータ収集 PC の設定は上記になっておりますので、上記設定にして頂ければそのままお使い頂けます。

IP アドレスを変更する場合は、AD-6904A のネットワーク設定により、データ収集 PC の IP アドレス設定を行ってください。詳細は、『7.3.3.ネットワーク設定画面』をご参照ください。

6.1.3. スリープ設定の解除

データ収集プログラムはデータ収集 PC がスリープや休止状態になってしまうとネットワークを切断され、AD-6904A からデータを受け取れなくなってしまいます。

通常、初期状態の Windows の PC は時間経過でスリープモードに入る設定になっているので、本システムを使用する前に必ず、スリープや休止状態の設定を解除しておいてください。

6.1.4. (補足)ファイルとフォルダ

データ収集プログラムをインストールすると、以下のようなフォルダ及びファイルが作成されます。

フォルダ	ファイル	解説
C:\MedicalSys	MedicalSys.exe kenshin.ini adapter.mdb data.mdb ...	プログラム本体 動作設定ファイル データ収集アダプタ情報 DB 測定データ DB ...
C:\MedicalSys\Data	YYMMDD.csv (インストール時点では空)	データ収集アダプタからの受信データ データ収集アダプタ内メモリのファイルと同じ内容
C:\MedicalSys\Log	appYYMM.log	プログラムの動作記録
	comYYMM.log	対データ収集アダプタ通信記録
	db.log	data.mdb 内のデータを削除した際の動作記録
	errYYMM.log	プログラム内部エラー記録

・データファイル(csv、mdb ファイル)

受信データは Data フォルダの直下に、作成年月日をファイル名とする CSV ファイルが作成されます。また、測定結果は、data.mdb に記録されます。CSV ファイルは、既定値として最大 60 ファイルが保持され、古いファイルから削除されます。

⚠ 注意



- data.mdb に保存されたデータの内、約 1 年 1 ヶ月以上前のデータはソフト起動時に自動で削除されます。

・設定ファイル(ini ファイル)

プログラムが起動された際に読み込まれ、各種動作条件や項目の設定値などが記載されています。

誤った編集をしてしまうとソフトが正常動作しなくなる恐れがあるため、特に必要のない場合は触らないでください。

・ログファイル(log ファイル)

プログラムの起動終了記録、データ収集アダプタとデータ収集プログラム間の通信履歴、測定データ data.mdb の削除記録、プログラム内部で検出されたエラーの 4 種類のログファイルが C:\MedicalSys\Log フォルダに自動的に作成されます。db.log 以外のログファイルは、1 ヶ月分が 1 ファイルに記録されます。既定値として最大 13 ファイルが保持され、古いファイルから削除されます。

6.2. 機器の接続

6.2.1. IDリーダーと測定検査機器を接続する場合

測定検査機器を1台接続する場合は、COM1にIDリーダー、COM2に測定検査機器を接続します。

・IDリーダーの接続

本機のCOM1通信コネクタにIDリーダーを接続し、しっかりとネジで固定してください。

・測定検査機器の接続

本機のCOM2通信コネクタに測定検査機器を付属のシリアルケーブルで接続し、しっかりとネジで固定してください。

※ 一部機種は測定検査機器毎に専用のケーブルが必要となります。

各メーカー様へご確認いただき、本機側のコネクタがDsub-9ピン(メス)のケーブルをご用意ください。

注意



■ COM1に接続するIDリーダーが給電に対応している場合、IDリーダーの電源は外してください。

6.2.2. 測定検査機器を2台接続する場合

IDリーダーを測定検査機器に直接接続する場合、もしくは測定検査機器側で直接IDを入力する場合、一部の測定検査機器についてはCOM1とCOM2それぞれに接続することが可能です。対象となる測定検査機器は機種選択時の表示名に[ID]と付いている機種です。

測定検査機器の通信設定を本機、IDリーダーそれぞれに合わせる必要があります。

6.3. 測定検査機器の設定

本機と各測定検査機器が通信するためには、各測定検査機器のシリアル通信機能のON/OFF、通信速度やビット長、出力フォーマット等それぞれの機器側で設定を行う必要があります。別紙「AD6904A 接続プロトコル一覧」を参考に各種設定を行ってください。設定方法については測定検査機器毎の取扱説明書をご参照ください。

※ 測定検査機器から出力されるデータのフォーマットは必ず標準の仕様書に記載があること

6.4. LAN接続

LANケーブル(ストレート)により、データ収集PCと同一のネットワークに接続します。

6.5. 電源の接続

付属の AC アダプタプラグを壁面の AC100V(交流)コンセントに差し込んでください。
AC アダプタの出力ケーブルを本体の電源コネクタに差し込んでください。

注意



- AC アダプタは、必ず付属のものを使用してください。

6.6. 電源投入と切断

始業時は、

①データ収集 PC → ②測定検査機器 → ③AD-6904A の順番で電源投入します。

終業時は、

①AD-6904A → ②測定検査機器 → ③データ収集 PC の順番で電源を切断します。

6.7. 始業前点検

注意



- 安全に正しく使用するため日常点検として「始業前点検」を必ず行ってください。

6.7.1. はじめに

一日の最初に使用するとき、以下の「始業前点検」を行ってください。

6.7.2. 電源投入前

- | | |
|--------|---|
| 本体 | <ul style="list-style-type: none">■ 本体および外観の落下等による変形や破損はないか■ 汚れがひどくないか■ 濡れていないか |
| 各種ケーブル | <ul style="list-style-type: none">■ 傾斜、振動、衝撃などのない安定した場所に置いているか■ 本体のコネクタにしっかりと挿入されているか■ ケーブルの上に重いものを置いていないか■ ケーブルは痛んでいないか |

6.7.3. 電源投入後

- | | |
|-------|---|
| 本体 | ■ けむりが出ていないか |
| | ■ 変なおいしがないか |
| | ■ 異常な音が聞こえないか |
| 表示の確認 | ■ 電源投入後、青色の LED が点灯し、起動画面が表示されます。
起動から、約1分で測定画面が表示され、測定が可能になります。 |

6.7.4. 時刻設定の確認

本システムを使用する前に AD-6904A およびデータ収集 PC の時刻が正しいか確認を行ってください。

- ※ AD-6904A はデータ収集プログラムとネットワーク連携する際に、自動でデータ収集 PC に合わせるため設定は不要ですが、巡回健診等でネットワーク連携を行わない場合は必ず使用前に『7.3.2.時刻設定画面』を参考に時刻の確認および設定を行ってください。

7. AD-6904Aの画面と操作

本機はタッチパネル式です。各画面の操作は、直接画面にタッチすることにより操作可能です。

⚠ 注意



- タッチパネルの表面を鋭利な刃物やとがった物で、こすったり押ししたりしないでください。

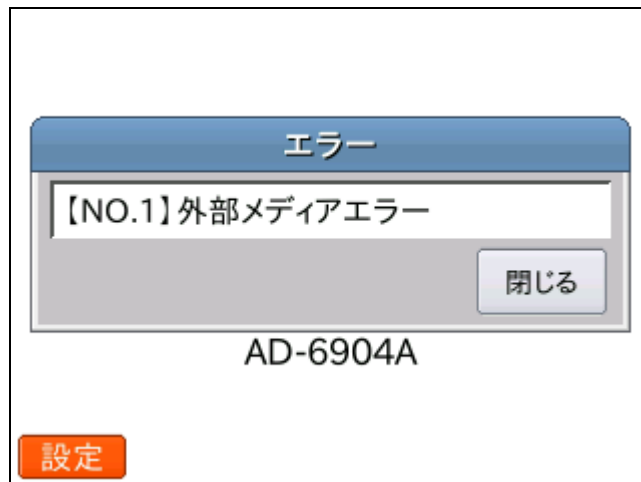
7.1. 起動画面

電源投入後、しばらくすると起動画面が表示されます。本画面での操作は必要ありません。



⚠ 注意

- システムに異常がある場合、エラーが表示され、測定画面へは移行しません。再度、電源を投入するか、各種設定後に電源を投入してください。



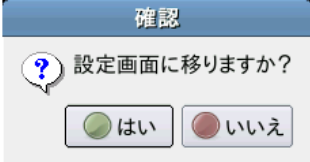


7.2. 測定画面

7.2.1. 共通項目

起動画面表示後、設定している測定検査機器に応じて異なる測定画面が表示されます。下図の点線枠部分は各測定画面で共通となります。



番号	名称	説明
①	アダプタ番号	アダプタ番号を表示します。
②	ID 番号	ID リーダで読み取った ID 番号を表示します。
③	状態ランプ	測定状態を表示します。 消灯 : ID 未入力状態 青点灯: ID 入力済状態(測定可能状態) 赤点灯: ID 桁数の異常または測定異常などの状態
④	LAN 接続状態	データ収集プログラムとの接続状態をアイコンで表示します。  オンライン: 接続状態  オフライン: 未接続状態
⑤	転送メッセージ	データ収集プログラムへのデータ送信が成功すると、『転送しました』メッセージが表示されます。
⑥	COM1 設定機種	COM1 に設定している機器の略称と名称を表示します。
⑦	COM2 設定機種	COM2 に設定している機器の略称と名称を表示します。
⑧	設定ボタン	設定画面への移行ボタンです。 ボタンをタッチすると、確認のダイアログが表示されます。 移行する場合[はい]を、移行しない場合[いいえ]をタッチしてください。 確認ダイアログ:  設定画面については、『7.3.設定画面』をご参照ください。

7.2.2. 各測定画面

各測定検査機器の測定画面を以下に示します。

・血圧計画面

血圧計を選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、最高血圧、最低血圧、脈拍数です。

アダプタ 1
ID:00000000
オンライン

最高血圧	120	mmHg
最低血圧	65	mmHg
脈拍	73	bpm

設定

転送しました

C1 BCR バーコードリーダー
C2 血圧 TM265Xシリーズ

・身長体重計画面

身長体重計、身長計、体重計を選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、身長、体重、BMIです。測定されないデータがある場合は、空欄となります。

※ 身長計の場合は体重とBMIが、体重計の場合は身長とBMIが空欄となります。

アダプタ 1
ID:00000000
オンライン

身長	174.1	cm
体重	68.9	kg
BMI	22.7	

設定

転送しました

C1 BCR バーコードリーダー
C2 身体 AD6228A

・体内脂肪計画面

体内脂肪計、体組成計を選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、身長、体重、BMI、体脂肪率です。測定されないデータがある場合は、空欄となります。

※ 測定器の設定により BMI を出力しない場合、空欄となります。

アダプタ 1
ID:00000000
オンライン

身長	171.2	cm
体重	67.6	kg
BMI	23.0	
体脂肪率	19.7	%

設定

転送しました

C1 BCR バーコードリーダー
C2 脂肪 DC250

・視力計画面

視力計を選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、遠点の左右の視力です。裸眼の測定結果は上段に、矯正の測定結果は下段に表示されます。また、0.1未満の視力の場合はFFと表示されます。

※ 通常、表示されるのは裸眼のみ、もしくは矯正のみです。

	右	左
裸眼	0.7	FF
矯正	0.8	0.9

※FF(0.1未満) 転送しました

設定 C1 BCR バーコードリーダー
C2 視力 NV350

・眼圧計画面

眼圧計を選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、左右それぞれの平均値、もしくは最新値です。

※ 平均値を表示するか、最新値を表示するかは画面表示設定で切り替えることができます。運用に合わせて切り替えてください。切り替え方法は『7.3.7.画面表示設定画面』を参照してください。

	右	左
	11.0 mmHg	
		10.3 mmHg

転送しました

設定 C1 BCR バーコードリーダー
C2 眼圧 NT530

・聴力計画面

聴力計を選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、1000Hzと4000Hzの左右の結果です。閾値検査データの場合、dB、選別検査データの場合、○×で表示されます。

選別	右	左
1000Hz	X	X
4000Hz	X	O

転送しました

設定 C1 BCR バーコードリーダー
C2 聴力 AB29

・聴力計(フルオージオ)画面

AA58(フルオージオ)を選択した場合の測定画面です。

表示する測定結果は、250Hz、500Hz、1000Hz、2000Hz、4000Hz、8000Hz の左右の結果です。

閾値検査データの場合 dB、選別検査データの場合○×で表示されます。

※ 選別検査は 1000Hz、4000Hz 以外測定できません。



・肺機能計画面

肺機能計を選択した場合の測定画面です。

表示する測定結果は、%VC、FVC、1 秒量、1 秒率です。



・尿分析画面

尿分析装置を選択した場合の測定画面です。

表示する測定結果は、蛋白、ブドウ糖、潜血です。

※ 尿分析装置は測定機器メーカーオプションの ID リーダが必須のため、COM1 に ID リーダは接続されません。



・心電計画面

心電計を選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、心拍数です。



・腹囲計画面

腹囲計を選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、腹囲です。



・生体モニタ画面

生体モニタを選択した場合の測定画面です。
表示する測定結果は、最高血圧、最低血圧、脈拍数、SpO2 です。



・レフケラトメータ画面

レフケラトメータを選択した場合の測定画面です。
タブをタッチすることでケラト測定「KM」、レフ測定「AR」を切り替えます。

「KM」画面で表示する測定結果は、ケラト測定の代表値です。

※ 代表値が得られなかった場合は最新値を表示します。

- R1: 弱主経線
- R2: 強主経線
- AVE: R1 と R2 の平均値
- mm: 曲率半径
- deg: 角度

「AR」画面で表示する測定結果は、レフ測定の代表値です。

※ 代表値が得られなかった場合は最新値を表示します。

- S: 球面屈折値
- C: 円柱屈折値
- A: 軸角度

	KM	AR
右	mm deg	左 mm deg
R1	7.54 166	7.51 5
R2	7.27	7.16
AVE	7.41	7.34

	KM	AR
		S C A
R		-1.50 -1.00 162
L		-1.25 -1.50 7

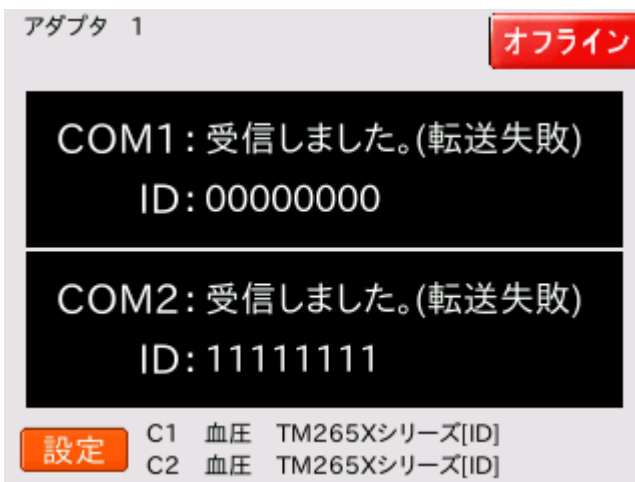
・測定検査機器2台接続時の測定画面

測定検査機器を 2 台選択した場合の測定画面です。

表示する結果は、『転送しました。』メッセージと ID 番号のみで、測定値は表示しません。



オフライン状態などでデータ収集プログラムへの転送ができなかった場合、『受信しました。(転送失敗)』と表示されます。



・通過管理画面

通過管理を選択した場合の画面です。
表示されるのは ID 番号のみです。データ収集プログラムへの ID 送信が確認できると、通過した ID 番号が画面に表示されます。



オフライン状態などでデータ収集プログラムへの ID 送信ができなかった場合は何も表示されません。



7.2.3. 測定手順

⚠ 注意



- オンライン状態になっていることを確認してから測定を行ってください。

・測定手順

右図は、正常起動時の測定画面です。

- (1) 右上の LAN 接続状態がオンラインであることを確認してください。



- (2) ID リーダで ID を読み込みます。
 - (3) ID が表示され、状態ランプが青点灯します。また、本機側面の COM1 ランプも点灯します。これで測定可能状態となります。
- ※ この時、右図の枠線辺りをタッチすると読み込んだ ID をキャンセルすることが出来ます。



- (4) 各測定検査機器の操作手順に従い測定を行います。
- (5) 測定が完了し、本機が測定データを受信すると画面に測定結果が表示されます。(右図は血圧計の例です。) 状態ランプは消灯します。『転送しました』のメッセージが表示されたら、データ収集プログラムへの転送は完了です。



・再測定


測定検査機器にかかわらず、再測定する場合は必ず測定手順(1)の操作からやり直してください。

複数回測定した場合、その都度測定結果が蓄積されますが、データ収集プログラムの『測定結果確認画面』、『出力画面』では最後のデータのみ表示されます。

※ 血圧値の再測定については他と異なります、『8.8.3.測定値選択処理』をご参照ください。

⚠ 注意

- ID の読み込みが失敗した場合や測定データに異常がある場合、エラーが表示されます。アダプタや測定検査機器の設定が正しいか確認をして、再度、測定を行ってください。



7.2.4. IDリーダの操作

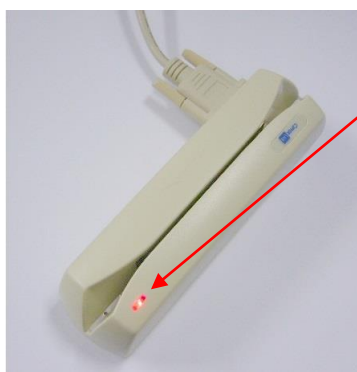
・バーコードリーダの操作

- (1) バーコードリーダの先端をバーコードに近づけ、グリップの裏側のスイッチを押します。
- (2) 正しく読み込まれると、「ピーツ」という音がして、読み取り LED が点灯します。



・磁気カードリーダの操作

- (1) カードを正しい向きでカードリーダのスリットに入れてスライドさせます。
 - (2) カードが正しく読み込まれると、「ピーツ」という音がして、インジケータが一瞬、赤から緑に変わります。
- ※ リーダの種類によってインジケータの色や光り方は異なります。



インジケータ

赤点灯：電源 ON 状態

緑点灯：磁気カードの読み取り成功

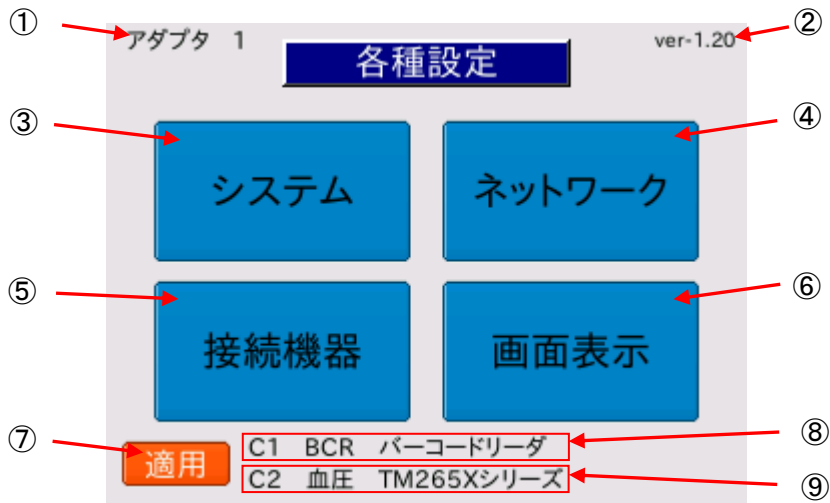
⚠ 注意



- 落としたり強くぶつけたりしないようにしてください。リーダには電源スイッチがありません。
- ID の読込回数には制限はありません。測定前なら何度でも読み直し可能ですが最後の入力の有効となります。
- バーコードを読んでも音がしない、またはカードリーダのエラー音が鳴る場合、正しく読めていません。もう一度読み直してください。
- バーコードリーダの裏側スイッチを押しても赤い光が出ない、または磁気カードリーダを読んでも音が鳴らない場合は、リーダの接続と AD-6904A の電源を確認して下さい。

7.3. 設定画面

『起動画面』および『測定画面』の[設定]ボタンをタッチすると、以下の『設定画面』へ移行します。本画面から各種設定画面に移行します。



番号	名称	説明
①	アダプタ番号	アダプタ番号を表示します。
②	バージョン表示	アダプタのバージョンを表示します。
③	システムボタン	タッチすると、『システム設定画面』へ移行します。 詳細は、『7.3.1.システム設定画面』をご参照ください。
④	ネットワークボタン	タッチすると、『ネットワーク設定画面』へ移行します。 詳細は、『7.3.3.ネットワーク設定画面』をご参照ください。
⑤	接続機器ボタン	タッチすると、『接続機器設定画面』へ移行します。 詳細は、『7.3.4.接続機器設定画面』をご参照ください。
⑥	画面表示ボタン	タッチすると、『画面表示設定画面』へ移行します。 詳細は、『7.3.7.画面表示設定画面』をご参照ください。
⑦	適用ボタン	タッチすると設定を保存し、『再起動画面』へ移行します。 詳細は、『7.4.再起動画面』をご参照ください。
⑧	COM1 設定機種	COM1 に設定している機器の略称と名称を表示します。
⑨	COM2 設定機種	COM2 に設定している機器の略称と名称を表示します。

⚠ 注意



- 設定を変更した場合は、必ず本画面の[適用]ボタンをタッチしてください。
[適用]ボタンをタッチせずに電源を切ると、設定は保存されません。

7.3.1. システム設定画面

『設定画面』の[システム]ボタンをタッチすると、以下のシステム『設定画面』へ移行します。この画面は、システムに関する設定をするための画面です。



番号	名称	説明
①	アダプタ番号設定	本機のアダプタ番号を設定します。 タッチすると、数値設定用のテンキーが表示されます。 設定範囲は 1～99 です。
②	記録ファイル数設定	本機に記録するファイル数の最大数を設定します。 タッチすると、数値設定用のテンキーが表示されます。 設定範囲は 1～100 個です。
③	LED 点灯時間設定	データを受信した際に点灯する COM1 および COM2 ランプの点灯時間を秒単位で設定します。 設定範囲は 1～600 秒です。
④	LED タイムアウト	COM1 および COM2 ランプの点滅時の消灯設定です。 OFF の場合は点滅し続け、ON の場合は一定時間で消灯します。
⑤	時刻設定	タッチすると、『時刻設定画面』へ移行します。 詳細は、『7.3.2.時刻設定画面』をご参照ください。
⑥	戻るボタン	タッチすると、『設定画面』へ戻ります。

⚠ 注意



- 本機を複数台使用する場合は、アダプタ番号が重複しないように設定してください。

⚠ 注意



- 設定を変更した場合は、必ず『設定画面』の[適用]ボタンをタッチしてください。
[適用]ボタンをタッチせずに電源を切ると、設定は保存されません。

・数値設定用テンキー

アダプタ番号などの数値を設定する場合、設定エリアをタッチすることで、以下のようなテンキーが表示されます。数値を入力し、[ENT]ボタンをタッチすることで設定変更できます。

設定を中止する場合は、[ESC]ボタンをタッチしてください。



7.3.2. 時刻設定画面

『システム設定画面』の[時刻設定]ボタンをタッチすると、以下の『時刻設定画面』へ移行します。



番号	名称	説明
①	年設定	年を設定します。 タッチすると、数値設定用のテンキーが表示されます。
②	月設定	月を設定します。 タッチすると、数値設定用のテンキーが表示されます。
③	日設定	日を設定します。 タッチすると、数値設定用のテンキーが表示されます。
④	時設定	時を設定します。 タッチすると、数値設定用のテンキーが表示されます。
⑤	分設定	分を設定します。 タッチすると、数値設定用のテンキーが表示されます。
⑥	適用ボタン	タッチすると、時刻設定を実行し、システム設定画面へ戻ります。

- ※ 基本的にデータ収集 PC と接続した際に、PC の内部時計に時刻を自動で合わせます。
データ収集 PC の時刻があっているか、使用前に必ず確認するようにしてください。
- ※ 巡回健診等、PC と接続しないで使用する場合は、こちらの画面で時刻を設定してください。
- ※ 本機には時刻の表示機能はありません。時刻は、測定データをバックアップする際に使用します。

7.3.3. ネットワーク設定画面

『設定画面』の[ネットワーク]ボタンをタッチすると、以下の『ネットワーク設定画面』へ移行します。この画面は、本機のネットワーク設定および接続するデータ収集 PC の IP アドレスを設定するための画面です。

番号	名称	説明
①	データ収集 PC の IP アドレス設定	データ収集 PC (HOST) の IP アドレスを設定します。タッチすると、データ収集 PC の IP アドレス設定用のテンキーが表示されます。出荷時の設定は、『192.168.0.100』です。
②	本機の IP アドレス設定	本機(AD-6904A)の IP アドレスを設定します。タッチすると、IP アドレス設定用のテンキーが表示されます。出荷時の設定は、『192.168.0.200』です。
③	サブネットマスク設定	サブネットマスクを設定します。タッチすると、サブネットマスク設定用のテンキーが表示されます。出荷時の設定は、『255.255.255.0』です。
④	デフォルトゲートウェイ設定	デフォルトゲートウェイを設定します。タッチすると、デフォルトゲートウェイ設定用のテンキーが表示されます。出荷時の設定は、『0.0.0.0』です。
⑤	ポート番号表示	ポート番号を表示します。本システムのポート番号は、『10001』で固定です。
⑥	戻るボタン	タッチすると、『設定画面』へ戻ります。

⚠ 注意



- 設定を変更した場合は、必ず『設定画面』の[適用]ボタンをタッチしてください。[適用]ボタンをタッチせずに電源を切ると、設定は保存されません。

・ネットワーク設定の数値入力手順

- (1) データ収集 PC(ホスト PC) の IP アドレス設定エリアをタッチします。
- (2) すると、右下のようなネットワーク設定用テンキーが表示されます。

ネットワーク設定	
-ホストPC-	
IP(HOST)	192.168.0.100
-AD6904A-	
IP(AD6904A)	192.168.0.200
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
ポート	10001

戻る

- (3) 設定したいセグメント部分をタッチすると数字エリアが暗転するので、テンキーで数字を入力します。
- (4) 第 1 セグメントから第 4 セグメントまで入力します。
- (5) [ENT]を押し、設定を終了します。

- [ESC]ボタンは入力を中止し元の画面に戻ります。
- [BS]ボタンは入力中の数字を 1 文字消します。
- [CLR]ボタンは入力中の数字を全て消します。

IP(HOST)			
192	168	0	100
7	8	9	BS
4	5	6	CLR
1	2	3	ESC
0			ENT

- (1) 同様に本機(AD-6904A)の IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを設定する場合も、各設定エリアをタッチすることで、右のようなネットワーク設定用テンキーが表示されます。数値を入力し、[ENT]ボタンをタッチすることで、設定変更できます。

IP(AD6904A)			
192	168	0	200
7	8	9	BS
4	5	6	CLR
1	2	3	ESC
0			ENT

7.3.4. 接続機器設定画面

『設定画面』の[接続機器]ボタンをタッチすると、以下の『接続機器設定画面』へ移行します。この画面は、接続するIDリーダーおよび測定検査機器の選択や設定を行う画面です。



番号	名称	説明
①	接続機器選択ボタン	タッチすると、『接続機器選択画面』に移行します。 詳細は、『7.3.5.接続機器選択画面』をご参照ください。
②	ID 詳細設定ボタン	タッチすると、『ID 詳細設定画面』に移行します。 詳細は、『7.3.6.ID 詳細設定画面』をご参照ください。
③	COM1 接続機器表示	現在の COM1 の設定機器の略称と名称が表示されます。
④	COM2 接続機器表示	現在の COM2 の設定機器の略称と名称が表示されます。
⑤	戻るボタン	タッチすると、『設定画面』へ戻ります。

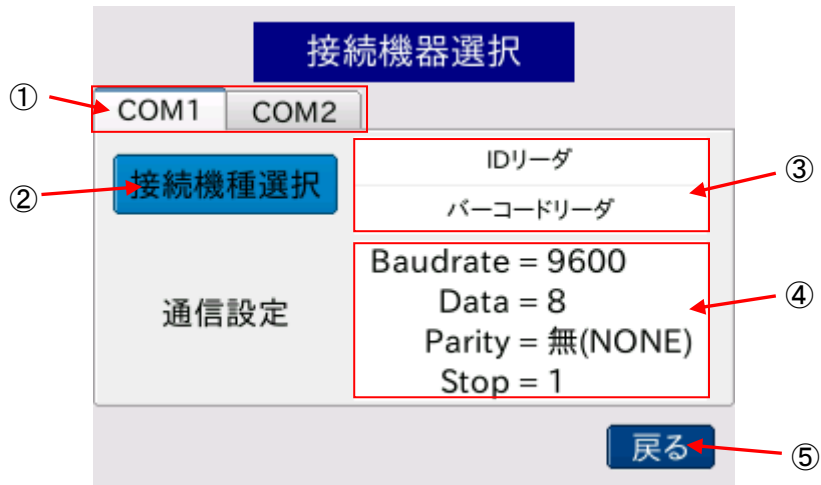
⚠ 注意



- 設定を変更した場合は、必ず『設定画面』の[適用]ボタンをタッチしてください。
[適用]ボタンをタッチせずに電源を切ると、設定は保存されません。

7.3.5. 接続機器選択画面

『接続機器設定画面』の[接続機器選択]ボタンをタッチすると、以下の『接続機器選択画面』へ移行します。



番号	名称	説明
①	COM 選択タブ	『COM1 接続機器選択画面』と『COM2 接続機器選択画面』を切り替えるタブです。タッチで切り替わります。
②	接続機種選択ボタン	タッチすると、機種選択ダイアログが表示されます。次ページに選択手順を記します。
③	選択機種表示	選択した機種と名称が表示されます。
④	通信設定	選択した機器の通信設定を表示します。
⑤	戻るボタン	タッチすると、『設定画面』へ戻ります。

⚠ 注意

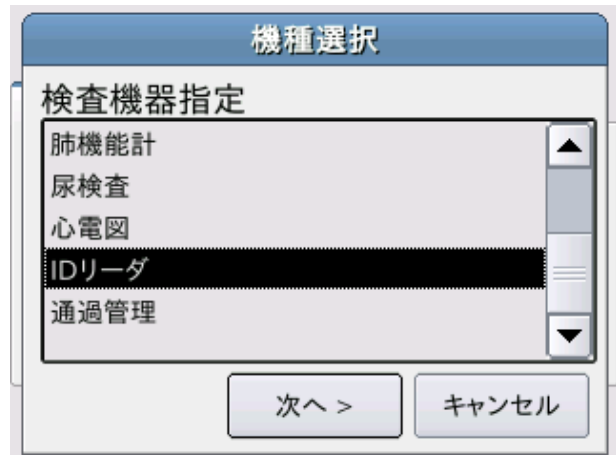


- 設定を変更した場合は、必ず『設定画面』の[適用]ボタンをタッチしてください。
[適用]ボタンをタッチせずに電源を切ると、設定は保存されません。

・接続機器選択手順

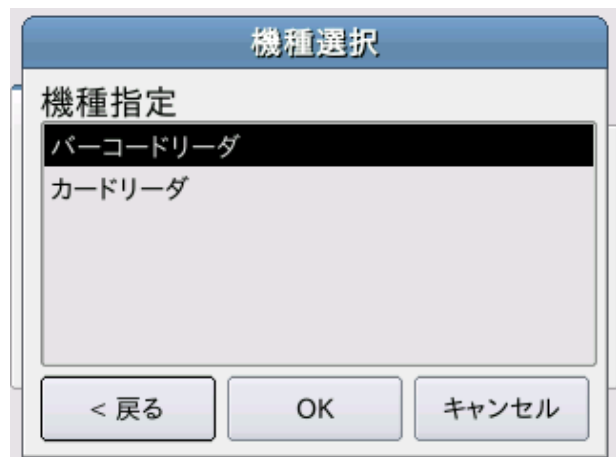
- (1) 『接続機器選択画面』の[接続機器選択]ボタンをタッチします。
- (2) すると、右図の検査機器(グループ)を選択するダイアログが表示されます。
- (3) IDリーダーまたは機種を選択し[次へ]ボタンタッチします。

- 測定検査機器の変更を中止する場合は、[キャンセル]ボタンをタッチします。



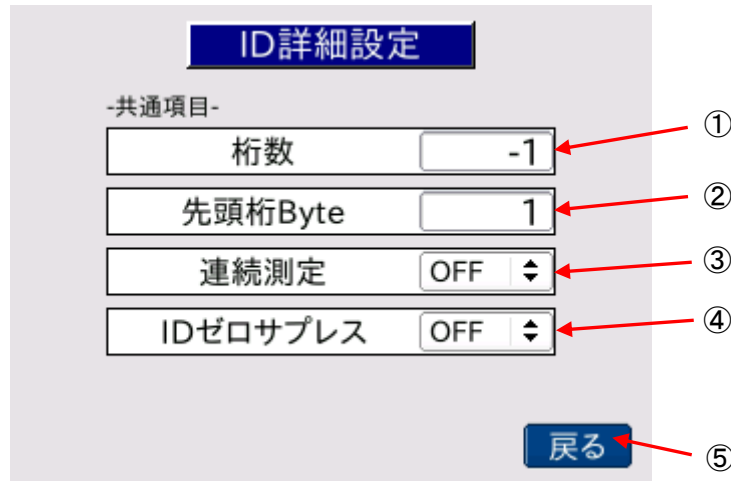
- (4) すると、右図の測定検査機器を選択するダイアログが表示されます。
- (5) 使用する測定検査機器を選択し、[OK]ボタンをタッチします。
- (6) ダイアログが閉じられます。

- 測定検査機器の変更を中止する場合は、[キャンセル]ボタンをタッチします。



7.3.6. ID詳細設定画面



『接続機器設定画面』の[ID 詳細設定]ボタンをタッチすると、ID に関する設定の画面へ移行します。



番号	名称	説明
①	桁数設定	読み取る ID の桁数を設定します。 設定範囲は 1～30 または -1 です。 -1 は桁数を指定しない(桁数が一定でない)場合に設定します。
②	先頭桁 Byte 設定	設定した数字の Byte 目から ID の読み出しをします。 設定範囲は 1～500 です。
③	連続測定設定	ON にすると測定後も ID が保持されるようになります。 同じ ID で連続して測定を行う場合に使用します。
④	ID ゼロサプレス設定	ON にすると読み込んだ ID をゼロサプレスします。 ※測定データに含まれる ID には対応していません。
⑤	戻るボタン	タッチすると、『設定画面』へ戻ります。

※ COM1 と COM2 にそれぞれ別の ID 付き測定検査機器を接続する場合、先頭桁は 1 で固定してください。
正しく ID が取得できなくなってしまうます。

※ 受診者 ID には半角英数字が使用可能です。記号は基本的に使用出来ません。

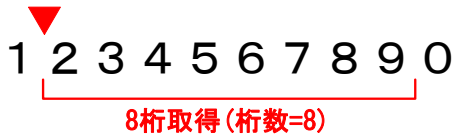
 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設定を変更した場合は、必ず『設定画面』の[適用]ボタンをタッチしてください。 [適用]ボタンをタッチせずに電源を切ると、設定は保存されません。

・ID の決定方法

以下に、桁数=8、先頭桁 Byte=2 の場合の例を示します。

- (1) ID リーダで『1234567890』の 10 桁の ID を読み込みます。
- (2) この設定の場合、以下の図のように 8 桁を取得します。

先頭から2桁目 (先頭桁Byte=2)



- (3) これより、ID として使用するデータは『23456789』となります。

・連続測定

ON にすると測定後も ID を保持するようになり、測定毎に ID を読み直す必要がなくなります。

ただし、ID を保持したまま、次の受診者が自分の ID を読まずに測定をしてしまうとデータが入れ替わってしまう可能性があります。設定する場合は、運用に注意してください。

※ 読み込んだ ID は下図の枠線辺りをタッチするとキャンセルすることも出来ます。



・ID ゼロサプレス

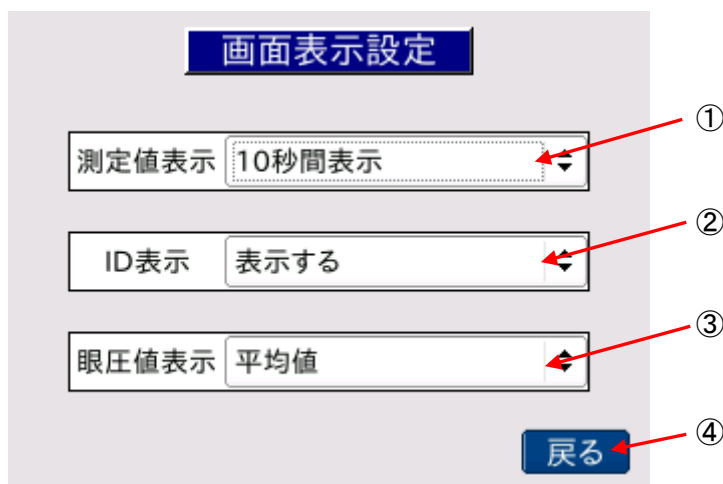
COM1 に接続した ID リーダで読み込んだ ID の前方に 0 がある場合、0 をすべて読み捨てます。

例: 00012345 → 12345

※ ID 付き測定検査機器(機種名の後ろに[ID]と付いている機種)から出力される ID には無効です。

7.3.7. 画面表示設定画面

『設定画面』の[画面設定]ボタンをタッチすると、以下の『画面表示設定画面』へ移行します。この画面は、『測定画面』での表示関係の設定をするための画面です。



番号	名称	説明
①	測定値表示時間設定	測定値の表示する時間を設定します。 タッチすると、設定用のリストボックスが表示されます。 以下リストの内容です。 ・表示しない ・10 秒間表示 ・20 秒間表示 ・次の ID を読み込むまで
②	ID 表示設定	ID の表示の有無を設定します。 タッチすると、設定用のリストボックスが表示されます。 以下リストの内容です。 ・表示しない ・表示する
③	眼圧値表示設定	眼圧値の平均値と最新値、どちらを画面に表示するか設定します。
④	戻るボタン	タッチすると、『設定画面』へ戻ります。

⚠ 注意

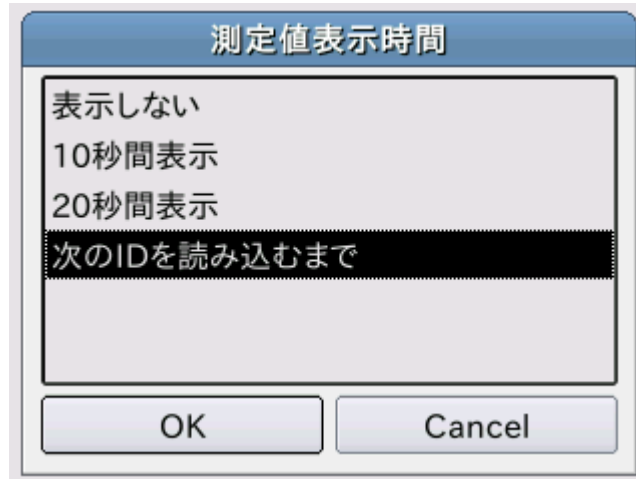


- 設定を変更した場合は、必ず『設定画面』の[適用]ボタンをタッチしてください。
[適用]ボタンをタッチせずに電源を切ると、設定は保存されません。

・測定値表示時間設定リストボックス

測定値表示時間を設定する場合、設定エリアをタッチすることで、以下のようなリストボックスが表示されます。項目を選択し、[OK]ボタンをタッチすることで設定変更できます。

設定を中止する場合は、[Cancel]ボタンをタッチしてください。



項目	説明
表示しない	測定値を表示しません。
10 秒間表示	データ受信後、測定値を 10 秒間表示します。ただし、10 秒経過前に次の ID を読み込んだ場合は、測定値は非表示となります。
20 秒間表示	データ受信後、測定値を 20 秒間表示します。ただし、20 秒経過前に次の ID を読み込んだ場合は、測定値は非表示となります。
次の ID を読み込むまで	データ受信後、測定値を次の ID を読み込むまで表示し続けます。

・ID 表示設定リストボックス

ID 表示を設定する場合、設定エリアをタッチすることで、以下のようなリストボックスが表示されます。項目を選択し、[OK]ボタンをタッチすることで設定変更できます。

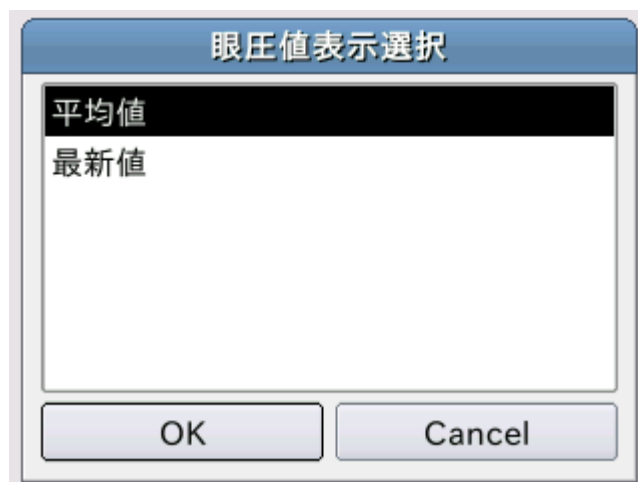
設定を中止する場合は、[Cancel]ボタンをタッチしてください。



・眼圧値表示選択リストボックス

眼圧値表示を選択する場合、設定エリアをタッチすることで、以下のようなリストボックスが表示されます。項目を選択し、[OK]ボタンをタッチすることで設定変更できます。

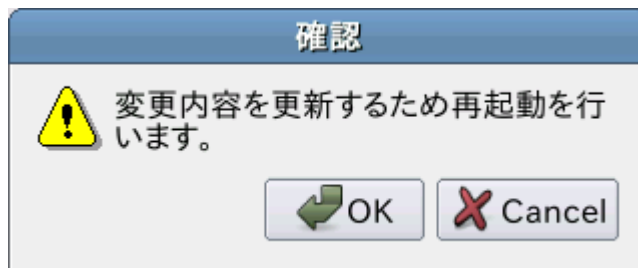
設定を中止する場合は、[Cancel]ボタンをタッチしてください。



項目	説明
平均値	眼圧測定を数回行い、その平均値を表示する場合に選択します。
最新値	眼圧測定を行い、その都度、結果を表示する場合に選択します。 基本的に連続測定モードを ON にして使用します。

7.4.再起動画面

『設定画面』左下の[適用]ボタンをタッチすると、確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログの[OK]ボタンをタッチすると、『再起動画面』へ移行します。本画面に移行することで、設定を更新し、自動的に再起動します。各種設定を変更した際は、必ず『設定画面』の[適用]ボタンをタッチし、再起動を行ってください。

※ 再起動中に誤って電源を切ってしまう問題ありません。通常通り電源を入れてください。



8. データ収集プログラムの画面と操作

8.1. データ収集プログラムの起動と終了

・起動

デスクトップの[データ収集ソフト]アイコンをダブルクリックします。
通常は、パソコン電源 ON で自動起動するように設定されています。



・メニュー画面

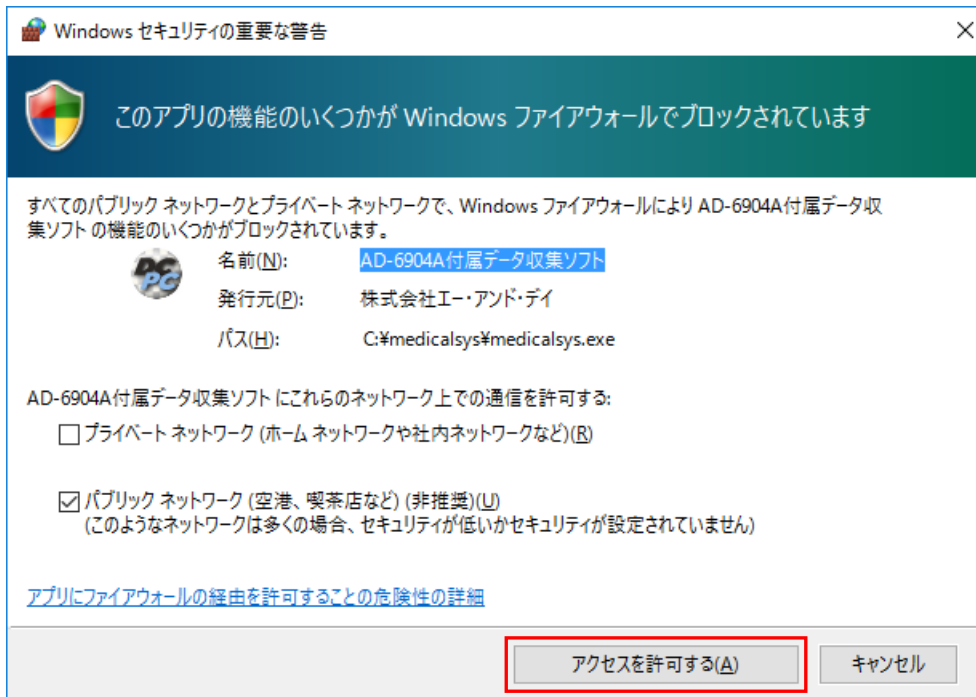
ソフトを起動すると“データ収集ソフト Ver.x.xx”が表示されます。
この画面を『メニュー画面』と言います。



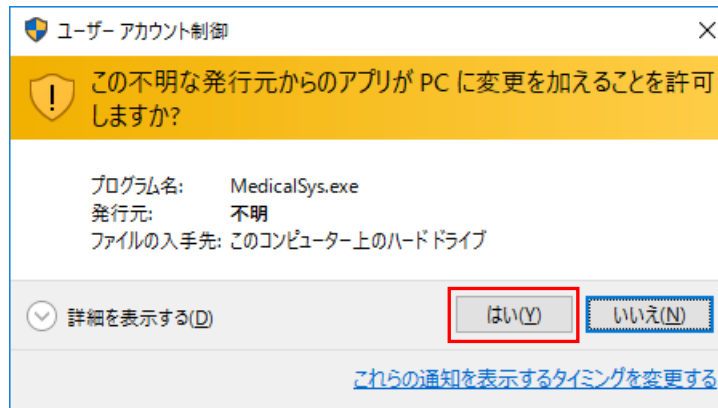
・終了

画面右下の[終了]ボタンを押すと、データ収集プログラムを終了します。なお、画面右上の×ボタンは無効になっています。[終了]ボタンで終了してください。

ソフトの初回起動時に下図のようなセキュリティ警告画面が表示されますが、そのまま[アクセスを許可する]を押してください。



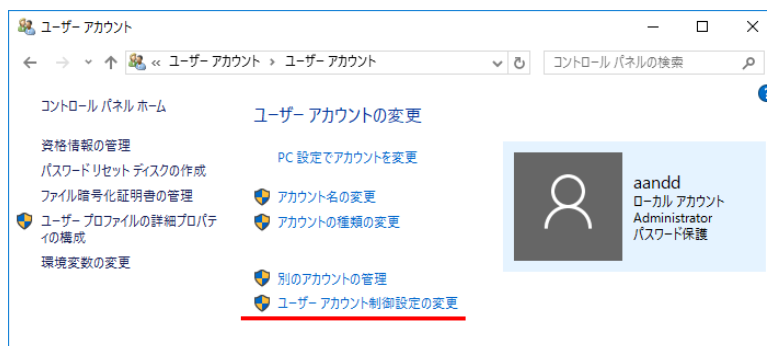
また、ソフトを起動する度に下図のようなユーザーアカウント制御画面が表示されますが、[はい]を押してソフトを起動して下さい。



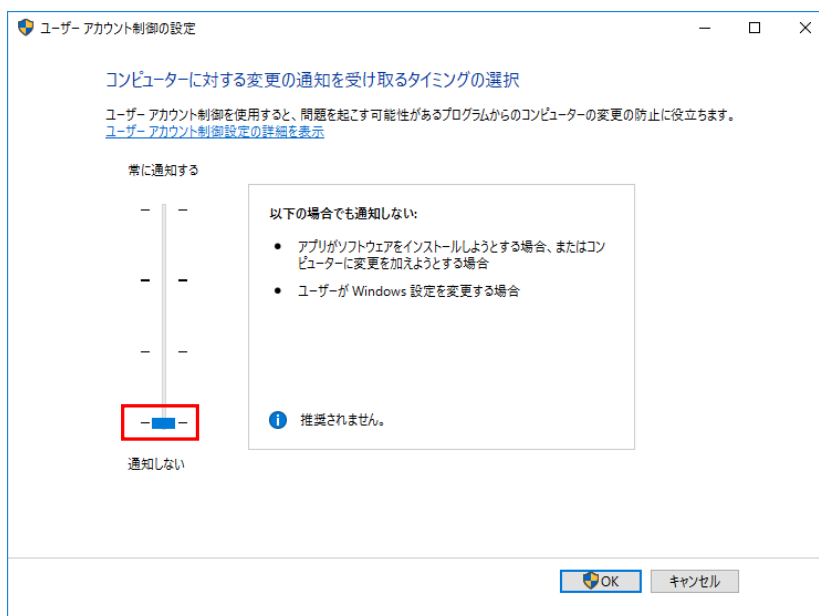
ユーザーアカウント制御の画面は以下の手順で非表示にすることも可能です。

※ 以下の設定はセキュリティ上、問題になり得ますので、設定は自己責任でお願いします。

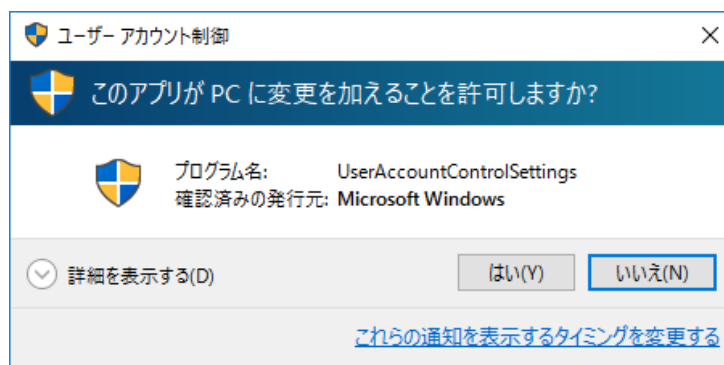
スタートメニューからコントロールパネルを開き、ユーザーアカウントを開くと下図の画面が表示されるので、下線部[ユーザーアカウント制御設定の変更]を選択します。



下図枠内のバーを一番下の[通知しない]まで下げ、[OK]ボタンを押します。

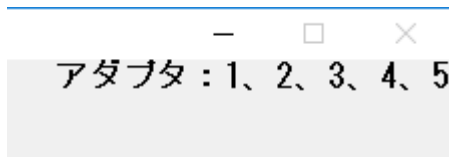


確認ダイアログが表示されるので、[はい]を押すと変更が完了します。



8.2. データ収集アダプタ接続状況の表示

現在のデータ収集アダプタの接続状況は、データ収集プログラムの画面右上に表示されます。接続中のデータ収集アダプタの機器番号が数値で表示されます。データ収集アダプタを複数接続した場合、“アダプタ：1、2、3、...”のように表示されます。



⚠ 注意



- アダプタの機器番号が表示されない場合は、機器番号や IP アドレスの被り、データ収集アダプタの電源断や接続異常の可能性があります。

8.3. 測定結果確認画面

『メニュー画面』で[測定結果確認]ボタンを押すと、下図の『測定結果確認画面』が表示されます。



測定結果確認	
受診者ID	10000001
氏名	受診者 氏名 1
性別	女
カナ	ジュジュンヤ シメイ
生年月日	1979/03/18
身体	身長 174.0 cm 体重 56.9 kg
	BMI 18.8
視力	裸眼 右 1.0 矯正 右
	左 0.8 左
聴力	1000Hz 右 0 4000Hz 右 X
	左 0 左 X
肺機能	肺活量 3.11 L 肺活量比 120.4 %
	努力肺活量 3.45 L 努力肺活量比 120.4 %
	1秒量 2.52 L 1秒率 69.87 %
体組成	体重 66.40 kg 体脂肪率 19.7 %
	脂肪量 13.10 kg 除脂肪量 53.30 kg
	推定骨量 2.80 kg 筋肉量 50.50 kg
	体水分量 37.30 kg BMI 22.9
心電	心拍数 65 bpm ミリワット 107 108
	101 102 103 104 105 106
血圧	最高血圧 最低血圧 脈拍数
	1回目 120 mmHg 65 mmHg 73 bpm
	2回目
	○2 121 mmHg 66 mmHg 74 bpm
	○3
	○4
	○5
複数血圧(平均)	118 mmHg 70 mmHg 68 bpm
眼圧	右 11.0 mmHg 腹囲 61.5 cm
	左 10.3 mmHg
尿分析	糖 +-~50
	蛋白 1+~30
	潜血 3+~1.0

この画面が表示されている状態で ID を読むと、読み込んだ受診者 ID を持つ測定データが表示されます。ID リーダがない場合は、F9 キーを押して受診者 ID をキー入力することもできます。当日に測定したデータが複数存在する場合、最新データが表示されます。

データ収集ソフト Ver.1.23

測定結果確認

受診者ID 氏名 受診者 氏名2 性別 男
 カナ シュジュンヤ シメイ2 生年月日 1988/01/04

身体	身長	<input type="text" value="174.0 cm"/>	体重	<input type="text" value="56.9 kg"/>
	BMI	<input type="text" value="18.8"/>		
視力	裸眼 右	<input type="text" value="1.0"/>	矯正 右	<input type="text"/>
	左	<input type="text" value="0.8"/>	左	<input type="text"/>
聴力	1000Hz 右	<input type="text"/>	4000Hz 右	<input type="text"/>
	左	<input type="text"/>	左	<input type="text"/>
肺機能	肺活量	<input type="text" value="3.11 L"/>	肺活量比	<input type="text" value="120.4 %"/>
	努力肺活量	<input type="text" value="3.45 L"/>	努力肺活量比	<input type="text" value="120.4 %"/>
	1秒量	<input type="text" value="2.52 L"/>	1秒率	<input type="text" value="69.87 %"/>
体組成	体重	<input type="text"/>	体脂肪率	<input type="text"/>
	脂肪量	<input type="text"/>	除脂肪量	<input type="text"/>
	推定骨量	<input type="text"/>	筋肉量	<input type="text"/>
	体水分量	<input type="text"/>	BMI	<input type="text"/>
心電	心拍数	<input type="text" value="65 bpm"/>	ミチカト*	<input type="text" value="107 108"/>
		<input type="text" value="101 102"/>		<input type="text" value="103 104 105 106"/>

血圧	最高血圧	最低血圧	脈拍数	
	1回目	<input type="text" value="120 mmHg"/>	<input type="text" value="65 mmHg"/>	<input type="text" value="73 bpm"/>
2回目	○2	<input type="text" value="121 mmHg"/>	<input type="text" value="66 mmHg"/>	<input type="text" value="74 bpm"/>
	○3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
○4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	○5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

複数血圧(平均)

最高血圧	最低血圧	脈拍数
<input type="text" value="118 mmHg"/>	<input type="text" value="70 mmHg"/>	<input type="text" value="68 bpm"/>

眼圧 右 腹囲
 左

尿分析 糖
 蛋白
 潜血

測定項目毎にランプ状のインジケータがあり、測定結果が存在する場合は緑色、測定結果が全くない場合は赤色表示となり、データ背景も赤色表示となります。

また、『設定画面』にて『測定結果確認画面』の表示を OFF にした測定項目は、ランプ及びデータ背景が灰色になります。測定自体行わない場合などに使用します。

※ 『8.8.7.測定結果確認画面の表示 ON/OFF』をご参照ください

・最適血圧値の選択

『設定画面』にて血圧選択処理を『1 回目固定、2 回目以降上書き』に設定した場合、『測定結果確認画面』の血圧値の表示が下図のように変わります。デフォルトではこちらが選択されています。

※ 設定方法については『8.8.3.測定値選択処理』をご参照ください。

血圧	最高血圧	最低血圧	脈拍数	
●	1回目	<input type="text" value="114 mmHg"/>	<input type="text" value="59 mmHg"/>	<input type="text" value="69 bpm"/>
●	2回目	<input type="text" value="113 mmHg"/>	<input type="text" value="60 mmHg"/>	<input type="text" value="67 bpm"/>
	○3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
○4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
○5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

1回目の結果は当日、一番初めに測定した結果で固定ですが、2回目の結果は測定毎に上書きされていきます。測定値の横に水色のマークが付いている値が現在の2回目の結果です。また、直近4件の中から任意

で選ぶことができ、任意の測定値を選択し[確定]を押すと、マークが移動し2回目の結果として確定します。

血圧			
	最高血圧	最低血圧	脈拍数
<input checked="" type="radio"/> 1	114 mmHg	59 mmHg	69 bpm
<input checked="" type="radio"/> 2	113 mmHg	60 mmHg	67 bpm
<input type="radio"/> 3			
<input type="radio"/> 4			
<input type="radio"/> 5			

血圧選択処理を『常に1回目上書き』に設定した場合、測定毎に1回目の結果として上書きされていきます。水色のマークが付いている値が現在の結果です。また、直近5件の中から任意で選ぶことができ、こちらも任意の測定値を選択し[確定]を押すと、マークが移動し、1回目の結果として確定します。

・ID 変更

仮の受診者IDで測定した場合など、受診者IDを変更したい場合は『測定結果確認画面』の受診者ID表示右側にある [変更]ボタンを押します。『ID 変更画面』が表示されるので、正規の受診者IDを入力し、[OK] ボタンを押します。続いて確認メッセージが表示されますので、[はい]ボタンを押します。

データ収集ソフト Ver.2.00

ID変更

変更前

受診者ID	10000001
変更を適用する受診日	2019/07/02

変更後の受診者ID **10000002**

8.4. 履歴画面

『メニュー画面』で[履歴]ボタンを押すと、測定結果をリスト表示する『履歴画面』が表示されます。

時間	ID	測定種類	測定値
09:56	10000010	眼圧計	右=19.0、左=17.7
09:56	10000017	聴力計	機器=4、検査=選別、500Hz=30PR、1000Hz=25PR、2000Hz= 5PP、4000Hz=35RP
09:56	10000014	尿分析器	ブドウ糖=3+、300、ビリルビン=3+、6、ケトン体=+-、比重=1.010、潜血=1+、0、
09:56	10000003	身長体重計	身長=163.6、体重=51.2、BMI=19.1、風袋=4.6
09:56	10000016	血圧計	最高血圧=116、最低血圧= 62、脈拍数= 75
09:56	10000004	視力計	裸遠右=0.6、裸遠左=0.7、裸遠両=FF、裸近右=0.5、裸近左=0.2、裸近両=0.5、
09:56	10000001	腹囲計	腹囲=074.2、単位=cm
09:56	10000004	心電計	心拍数= 72、PR= 178、QRS= 82、AXIS= 34、QT= 363、QTc= 364、VI
09:56	10000021	体組成計	体型=0、性別=2、年齢=5、身長=158.4、着衣量= 0.09、体重= 54.61、体脂肪率=
09:56	10000030	肺機能計	予測肺活量=2.55、予測努力肺活量=2.60、肺活量=3.43、肺活量比=120.19、努力
09:56	10000007	属性送信	対象機器=肺機能計、氏名=受診者 氏名 7、性別=M、年齢=60、生年月日=19590
09:56	10000010	眼圧計	右= 6.3、左=16.7
09:56	10000026	聴力計	機器=2、検査=閾値、125Hz= 35 0、250Hz=(45) 55、500Hz= 30 30、
09:57	10000005	尿分析器	ブドウ糖=1+、100、ビリルビン=3+、6、ケトン体=+-、比重=1.020、潜血=3+、1.0
09:57	10000023	身長体重計	身長=166.3、体重=53.6、BMI=19.4
09:57	10000022	血圧計	最高血圧=122、最低血圧= 66、脈拍数= 70
09:57	10000025	視力計	裸遠右=1.0、裸遠左=0.5、裸遠両=0.7、裸近右=0.7、裸近左=0.1、裸近両=0.4、
09:57	10000010	腹囲計	腹囲=078.9、単位=cm
09:57	10000024	眼圧計	右=27.7、左=26.7
09:57	10000023	聴力計	機器=2、検査=閾値、125Hz= 10 0、250Hz= 5 30、500Hz= 45 5、
09:57	10000017	心電計	心拍数= 68、PR= 179、QRS= 98、AXIS= 21、QT= 353、QTc= 365、VI
09:57	10000024	体組成計	体型=0、性別=2、年齢=2、身長=171.7、着衣量= 0.93、体重= 49.14、体脂肪率=
09:57	10000016	肺機能計	予測肺活量=2.75、予測努力肺活量=2.60、肺活量=3.05、肺活量比=120.16、努力
09:57	10000030	属性送信	対象機器=肺機能計、氏名=受診者 氏名 3 0、性別=F、年齢=31、生年月日=1987

新しい測定データが順次最下行に追加され、画面表示行数を超えると自動的に画面がスクロールされて、最新の測定データが一番下に表示されます。

表示される履歴は当日のデータのみで、日付が変わるとリセットされます。

⚠ 注意



- データ収集中に『履歴画面』を表示したままにしていると、PC の処理が遅くなり正しく動作しなくなる可能性があります。

8.5. 属性確認画面

『メニュー画面』で[属性確認]ボタンを押すと、受診者属性をリスト表示する『属性確認画面』が表示されます。

受診者ID	カナ氏名	氏名	性別	生年月日
10000010	シムンツヤ シメ110	受診者 氏名 1 0	女	1958/05/08
10000011	シムンツヤ シメ111	受診者 氏名 1 1	男	1955/03/18
10000012	シムンツヤ シメ112	受診者 氏名 1 2	女	1967/01/09
10000013	シムンツヤ シメ113	受診者 氏名 1 3	男	1970/02/03
10000014	シムンツヤ シメ114	受診者 氏名 1 4	女	1993/01/06
10000015	シムンツヤ シメ115	受診者 氏名 1 5	男	1992/07/28
10000016	シムンツヤ シメ116	受診者 氏名 1 6	女	1960/03/12
10000017	シムンツヤ シメ117	受診者 氏名 1 7	男	1985/08/15
10000018	シムンツヤ シメ118	受診者 氏名 1 8	女	1973/02/17
10000019	シムンツヤ シメ119	受診者 氏名 1 9	男	1994/10/25
10000020	シムンツヤ シメ120	受診者 氏名 2 0	女	1987/06/26
10000021	シムンツヤ シメ121	受診者 氏名 2 1	男	2000/03/14
10000022	シムンツヤ シメ122	受診者 氏名 2 2	女	1963/01/19
10000023	シムンツヤ シメ123	受診者 氏名 2 3	男	1951/06/11
10000024	シムンツヤ シメ124	受診者 氏名 2 4	女	1997/09/19
10000025	シムンツヤ シメ125	受診者 氏名 2 5	男	1960/03/03
10000026	シムンツヤ シメ126	受診者 氏名 2 6	女	1978/04/08
10000027	シムンツヤ シメ127	受診者 氏名 2 7	男	1952/01/22
10000028	シムンツヤ シメ128	受診者 氏名 2 8	女	1979/07/04
10000029	シムンツヤ シメ129	受診者 氏名 2 9	男	1983/10/07
10000030	シムンツヤ シメ130	受診者 氏名 3 0	女	1987/11/10

肺機能計や心電計などの測定検査機器では正しく測定するために年齢や性別などの属性情報が必要です。測定を行う前に属性ファイルを受け取っていると、それらの測定検査機器へ属性情報を送信することが出来ます。本画面は受け取った属性情報を確認する際に使用します。

属性ファイルを読み込んだ状態で、確認したい受診日をプルダウンから指定すると、その日に受診予定の属性情報がリスト表示されます。属性情報がある日付のみプルダウンリストに表示されます。また、過去の日付は指定できません。属性情報リストは左から受診者 ID、カナ氏名、氏名、性別、生年月日となっています。

上図のように、[自動表示]が[ON]になっているときは、新しい属性情報を取り込むたびにリストが自動更新されます。[自動表示]を押して、[OFF]にすると画面表示の自動更新を中断します。

※ 属性ファイルの読み込みには属性入力フォルダの設定をする必要があります。

『8.8.1. 結果出力フォルダ／属性入力フォルダ』を参照してフォルダを設定してください。

8.6. 出力画面

『メニュー画面』で[出力]ボタンを押すと、測定結果をリスト表示する『出力画面』が表示されます。

データ収集ソフト Ver.2.00

アダプタ: 1、2、3、4、5

出力

表示条件設定

件数: 30

● 受診日: 2019年 7月 2日 ○ 期間選択: 2019/07/01 ~ 2019/07/02

更新

受診者 ID	受診日	最高血圧 [mmHg]	最低血圧 [mmHg]	脈拍数 [bpm]	最高血圧 2回目 [mmHg]	最低血圧 2回目 [mmHg]	脈拍数 2回目 [bpm]	身長 [cm]	体重 [kg]	BMI
10000013	20190702	128	69	62				155.3	62.2	25.8
10000014	20190702	118	54	61	115	64	71	166.2	58.9	21.3
10000015	20190702							167.8	64.4	22.9
10000016	20190702	116	62	75	120	61	75	171.4	52.7	17.9
10000017	20190702	123	61	75	113	52	71	168.7	50.3	17.7
10000018	20190702	115	53	64	118	54	69			
10000019	20190702	127	52	68	123	53	73	166.9	57.6	20.7
10000020	20190702	122	64	69	122	54	64	162.2	50.4	19.2
10000021	20190702	124	68	77						
10000022	20190702	122	66	70	121	69	60	168.5	47.4	16.7
10000023	20190702	126	65	62	114	69	68	169.2	52.7	18.4
10000024	20190702	116	52	78	128	65	62	167.3	62.8	22.4
10000025	20190702	119	59	76	119	64	70	171.6	50.7	17.2
10000026	20190702	116	68	69	126	66	78	169.3	49.6	17.3
10000027	20190702	113	61	75	119	67	64	164.8	61.0	22.5
10000028	20190702	111	63	64	126	68	74	158.4	49.4	19.7
10000029	20190702	118	51	66	118	65	69	160.2	45.2	17.6
10000030	20190702	118	64	73	118	50	71	160.8	58.2	22.5

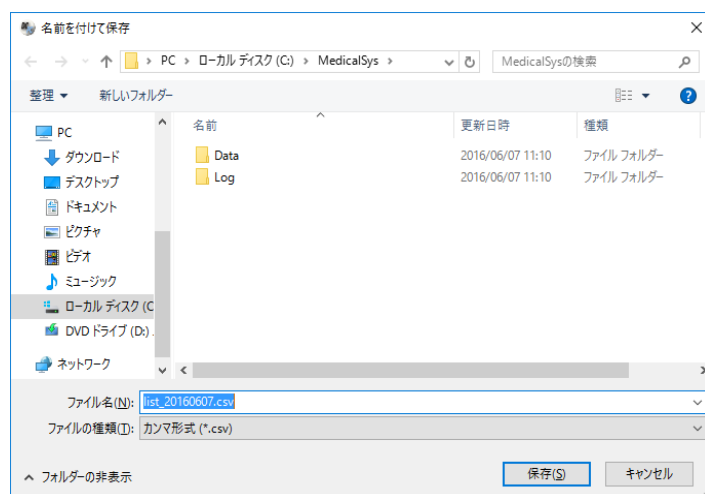
ファイル出力 リスト幅変更 メニュー

表示条件を設定して、[更新]ボタンを押すと指定した日付／期間での測定結果一覧が表示されます。画面左上の「件数」は指定した日付／期間に1つ以上の測定結果がある受診者の人数です。1受診者IDにつき1行のリストになっており、複数回測定した場合、最新の測定結果が表示されます。

・ファイル出力

一覧表示されたデータをCSV形式のデータとして保存できます。

[ファイル出力]ボタンを押すと『名前を付けて保存』ダイアログが表示されますので、保存する場所を選択し、ファイル名をつけて保存します。



・リスト幅変更

初期状態は、測定項目毎の幅を最小限に抑えて、多くの測定項目のデータ有無が一瞥し易い表示になっています。[リスト幅変更]ボタンを押すと、測定項目毎の表示幅が拡大します。個々の測定結果値を確認する場合に使います。

・期間選択カレンダー

表示条件設定の期間選択にチェックを入れ、日付ボタンを押すと下図のようなカレンダーが表示されます。期間の開始日、終了日を選択し[更新]ボタンを押すと、期間内での最新の測定結果が一覧表示されます。受診日は、期間内で最後に受診した日付が表示されます。

The screenshot shows a user interface for selecting a date range. At the top, there is a radio button labeled "期間選択" (Date Selection) which is selected. Next to it are two date input fields: "2016/06/06" and "2016/06/07", with a tilde (~) between them. To the right is a "更新" (Update) button. Below this is a table with columns for "脈拍数 2回目 [bpm]" (Heart rate 2nd time [bpm]) and "身" (Body). The table contains the following data:

脈拍数 2回目 [bpm]	身
63	165
67	167
66	171
64	167
72	163.3

Overlaid on the table is a calendar for June 2016. The calendar shows days from 29 to 9. The date 7 is highlighted with a blue box. To the right of the calendar, there is a vertical label "率" (Rate). Below the calendar, there are numerical values: "49.3" and "18.5".

8.7. 保守画面

メニュー画面で[保守]ボタンを押すと、下図のような画面が表示されます。



『保守画面』ではデータ収集アダプタ内のバックアップデータの回収や、測定データの再送を行います。その他、詳細な設定は画面左下の[設定]ボタンを押すと表示される『設定画面』で行います。

8.7.1. データ収集アダプタ内のデータ回収

『保守画面』の「AD-6904A データ回収」では、指定したデータ収集アダプタのメモリ内にある任意の測定日のファイルから未受信のデータを回収します。



[IP アドレス] プルダウンリストから対象となるデータ収集アダプタの IP アドレスを選択し、[接続]ボタンを押します。接続が完了するとデータ収集アダプタのメモリの内容が表示されます。

測定データのファイル名は、西暦下 2 桁の『年月日.CSV』となっています。[ファイル選択]リストから回収するファイルを選択し、[開始]ボタンを押してください。キーボードの[Ctrl]キーを押しながらファイルをクリックすると複数選択が可能です。

⚠ 注意



■ データ収集中は、データ収集アダプタ内のデータ回収を行わないでください。

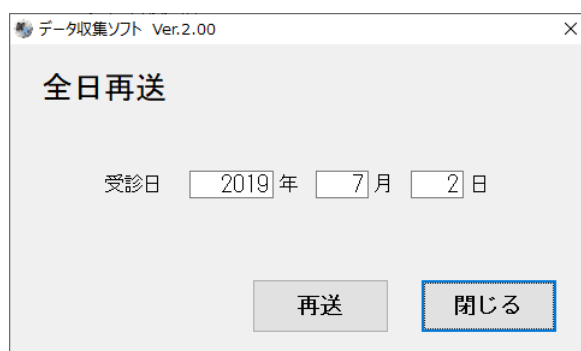
8.7.2. PCから上位システムへのデータ再送

画面下部の枠線部分では、データ収集プログラム内部データベースにある測定データを測定日単位または受診者単位で測定結果ファイルとして再出力します。



・全日再送

再送したい受診日を入力し、[再送]ボタンを押すと確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると指定日の全データを再送します。



・個別再送

再送したい受診日を入力し、[更新]ボタンを押すと、その日の受診者IDと属性情報がすべてリスト表示されます。再送したい受診者IDの選択欄をクリックすると「レ」表示になります。選択した件数を確認し、[再送]ボタンを押すと「レ」表示の受診者IDのデータを再送します。

データ収集ソフト Ver.2.00 アダプタ：1、2、3、4、5

個別再送

受診日 年 月 日 件数 / 更新 再送

選択	受診者ID	カナ氏名	氏名	性別	生年月日
	10000001	シムンシヤ シメ1	受診者 氏名 1	男	1954/01/02
	10000002	シムンシヤ シメ2	受診者 氏名 2	女	1984/02/12
	10000003	シムンシヤ シメ3	受診者 氏名 3	男	1984/12/12
	10000004	シムンシヤ シメ4	受診者 氏名 4	女	1987/01/09
	10000005	シムンシヤ シメ5	受診者 氏名 5	男	1973/01/25
	10000006	シムンシヤ シメ6	受診者 氏名 6	女	1958/12/18
	10000007	シムンシヤ シメ7	受診者 氏名 7	男	1959/04/17
	10000008	シムンシヤ シメ8	受診者 氏名 8	女	1999/07/28
	10000009	シムンシヤ シメ9	受診者 氏名 9	男	1970/04/23
	10000010	シムンシヤ シメ10	受診者 氏名 10	女	1958/05/08
	10000011	シムンシヤ シメ11	受診者 氏名 11	男	1955/03/18
	10000012	シムンシヤ シメ12	受診者 氏名 12	女	1967/01/09
	10000013	シムンシヤ シメ13	受診者 氏名 13	男	1970/02/03
	10000014	シムンシヤ シメ14	受診者 氏名 14	女	1993/01/06
	10000015	シムンシヤ シメ15	受診者 氏名 15	男	1992/07/28
	10000016	シムンシヤ シメ16	受診者 氏名 16	女	1960/03/12
	10000017	シムンシヤ シメ17	受診者 氏名 17	男	1985/08/15
	10000018	シムンシヤ シメ18	受診者 氏名 18	女	1973/02/17
	10000019	シムンシヤ シメ19	受診者 氏名 19	男	1994/10/25
	10000020	シムンシヤ シメ20	受診者 氏名 20	女	1987/06/26
	10000021	シムンシヤ シメ21	受診者 氏名 21	男	2000/03/14

閉じる

8.8. 設定画面

『保守画面』左下の[設定]ボタンを押すと、下図の『設定画面』が表示されます。

データ収集ソフト Ver.2.00 アダプタ : 1、2、3、4、5

設定

① 結果出力フォルダ: ¥¥172.16.132.119¥Kekka 参照 ⑫ 結果出力種類: 標準形式

② 属性入力フォルダ: ¥¥172.16.132.119¥Zokusei 参照 ⑬ 結果ファイル名:

③ IDリーダー種類: バーコードリーダー Kekka YYYYMMDD hhmmss . CSV

④ COMポート番号: COM1 ⑭ 制御ファイル使用:

⑤ 血圧選択処理: 1回目固定、2回目以降上書き ⑮ ダブルクォーテーション付与:

⑥ 眼圧受信処理: 平均値 ⑯ 視力0.1未満の出力文字列: FF

⑦ 表示時間(秒): 30
測定結果確認画面の表示時間 1~3600秒で設定 -1で継続表示

⑧ ID桁数: -1
PC接続IDリーダーで読数の100の使用桁数 1~30で設定 -1で全桁

⑨ ID先頭桁: 1
読数10から部分採用する場合の先頭桁 1~500で設定

⑩ 眼科専用表示:

⑪ 測定結果確認: 身体 血圧 視力 聴力 眼圧 腹囲
肺機能 体組成 尿分析 心電図 レフケラ

更新 ファイルフォーマット設定 検査コード設定 閉じる

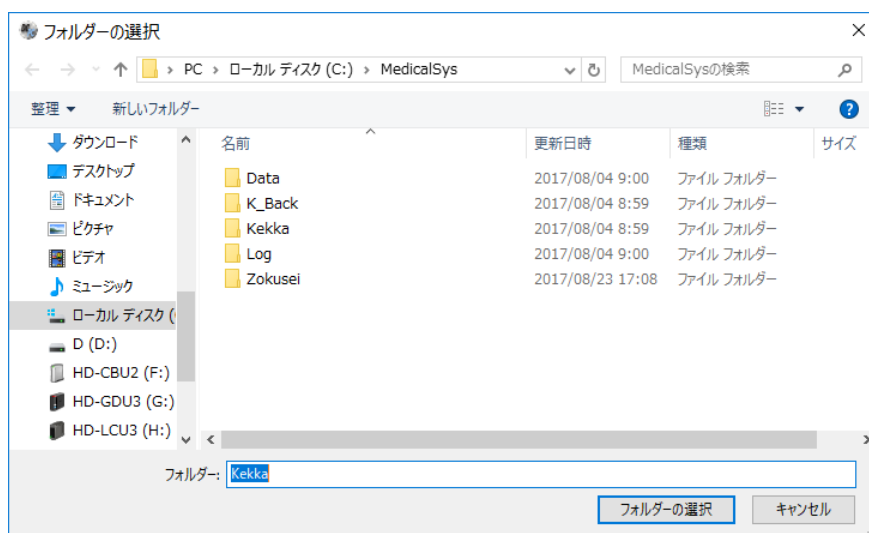
8.8.1. 結果出力フォルダ／属性入力フォルダ

『設定画面』①②では、それぞれ結果ファイルを出力するフォルダ、属性ファイルを入力するフォルダを指定することができます。

結果出力フォルダ: ¥¥172.16.132.119¥Kekka 参照

属性入力フォルダ: ¥¥172.16.132.119¥Zokusei 参照

参照ボタンを押すと下図のフォルダ選択画面が表示されるので任意の場所を指定してください。また、入力欄に直接アドレスを入力することも出来ます。



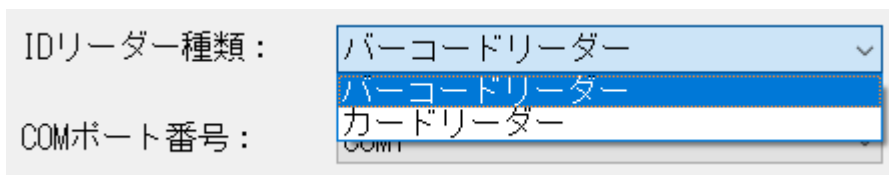
8.8.2. IDリーダー設定

『設定画面』③④では、データ収集 PC に接続する ID リーダーの種類を選択、ID リーダーを接続する COM ポート番号の選択が出来ます。

・ID リーダー設定プルダウンリスト

ID リーダーの種類をバーコードリーダーかカードリーダーから選択します。

COM ポート番号の選択では、ID リーダーが接続されている COM ポートの番号を選択します。



IDリーダー種類： バーコードリーダー
COMポート番号： COM1

ID リーダーは、データ収集 PC のインターフェース仕様に応じて、以下の接続準備が必要です。

シリアルポート内蔵の場合

- ① 内蔵シリアルの COM ポート番号を確認します。
- ② 「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「ポート」で確認できます。

シリアルポートがない場合

USB シリアル変換アダプタを使って、バーコードリーダーを PC の USB ポートに接続します。

まず、USB シリアル変換アダプタ、同アダプタ用のドライバを準備します。

※ ドライバは付属 CD やメーカーHP 等からダウンロードするなどして準備します。

- ① USB シリアル変換アダプタを PC の USB ポートに接続します。
- ② 新しいハードウェアの検出と導入のためのウィザード画面が表示されます。ガイドに従って、ドライバをインストールします。
- ③ ドライバのインストールが完了したら、ウィザード画面を終了します。
- ④ シリアルの COM ポート番号を確認します。

「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「ポート」で確認できます。

8.8.3. 測定値選択処理

『設定画面』⑤⑥では、血圧値及び眼圧値の項目処理を選択することが出来ます。

※ 血圧選択処理については前述の『8.3.測定結果確認画面』をご参照ください。

血圧選択処理：	1回目固定、2回目以降上書き
眼圧受信処理：	1回目固定、2回目以降上書き
	常に1回目に上書き

・眼圧値受信処理

データ収集アダプタに接続する眼圧計の設定には、数回測定した平均値を出力するモード、もしくは測定の都度、結果(最新値)を出力するモードがあります。どちらを使用するか、運用に合わせて選択してください。

眼圧受信処理：	平均値
	最新値
表示時間(秒)：	平均値

8.8.4. 測定結果確認画面の表示時間設定

『設定画面』⑦では、『測定結果確認画面』に測定結果が表示される時間を設定することが出来ます。

表示時間(秒)：	<input type="text" value="30"/>
	測定結果確認画面の表示時間 1～3600秒で設定 0で連続表示

設定範囲は1～3600秒で、表示されてから設定した時間が経過すると表示が消えます。
0に設定すると、時間経過で表示は消えず、再度IDを読み込むまで表示し続けます。

8.8.5. 受診者IDの桁設定

『設定画面』⑧⑨では、使用するIDの桁について設定することが出来ます。

ID 桁数：	<input type="text" value="-1"/>
	PC接続IDリーダーで読取のIDの使用桁数 1～30で設定 -1で全桁
ID 先頭桁：	<input type="text" value="1"/>
	読取IDから部分採用する場合の先頭桁 1～500で設定

・ID 桁数

データ収集 PC に接続した ID リーダで読み取った ID から使用する桁数を設定します。
設定範囲は1～30と-1で、-1の場合、桁数を指定せずすべての桁を読みます。

・ID 先頭桁

読み取った ID から一部分を抜き取って使用する場合に先頭となる桁を指定します。

※ ID 桁数が「-1」の時は、必ず先頭桁を「1」に設定してください。

例: 以下の設定で「1234567890」という ID を読み取った場合、「234567」が採用される ID となります。

・ID 桁数 6

・ID 先頭桁 2

1234567890

8.8.6. 眼科専用表示の切り替え

『設定画面』⑩にチェックを入れると、『測定結果確認画面』が眼科専用の画面に切り替わります。

眼科専用表示:

主に眼科向けの画面となり、測定可能な検査機器は「レフケラトメータ」、「視力計」、「眼圧計」の3つです。その他の機能としては通常の『測定結果確認画面』と変わりません。

※ 眼科専用表示の設定がされていても、上記 3 機種以外で測定を行えば、データの受信も結果の出力も行います。

データ収集ソフト Ver.2.00 アダプタ: 1、2、3、4、5

測定結果確認

受診者ID 氏名 受診者 氏名 1 性別 男
カナ シュジツジャ シメイ 生年月日 1954/01/02

レフケラトメータ			
	S	C	A
● 右	-0.78	-0.62	111
	mm	D	deg
R1	4.35	14.73	90
R2	1.03	11.41	180
AVE	3.22	18.53	
左	S	C	A
	-1.05	-1.81	167
	mm	D	deg
R1	4.47	41.23	65
R2	7.62	28.29	155
AVE	9.37	35.16	

視力			
	裸眼	矯正	
遠点	右	0.6	右
	左	0.1	左
近点	右	0.7	右
	左	0.1	左

眼圧	
● 右	19.0 mmHg
左	20.3 mmHg

8.8.7. 測定結果確認画面の表示ON/OFF

『設定画面』①では、測定を行う項目、行わない項目を選択します。

測定結果確認： 身体 血圧 複数血圧 視力 聴力 眼圧 腹囲
 肺機能 体組成 尿分析 心電図 レフケラ

データ収集アダプタに測定検査機器を接続しており、『測定結果確認画面』で測定データの確認を行う項目はチェックを入れます。測定検査機器を接続していない、または、『測定結果確認画面』でデータを確認しない項目はチェックを外します。上図のように体組成のチェックを外して更新をすると、下図のように『測定結果確認画面』の体組成部分はグレー表示されます。ただし、その場合でも、測定データが有る場合は、インジケータは緑色になります。

データ収集ソフト Ver.1.23

測定結果確認

受診者ID 氏名 受診者 氏名2 性別 男
カナ シュンゾウ シメイ2 生年月日 1988/01/04

身体 ●	身長	174.0 cm	体重	56.9 kg
	EMI	18.8		

視力 ●	裸眼	右 1.0	矯正	右
		左 0.8		左

聴力 ●	1000Hz	右	4000Hz	右
		左		左

肺機能 ●	肺活量	3.11 L	肺活量比	120.4 %
	努力肺活量	3.45 L	努力肺活量比	120.4 %
	1秒量	2.52 L	1秒率	69.87 %

体組成 ●	体重		体脂肪率	
	脂肪量		除脂肪量	
	推定骨量		筋肉量	
	体水分量		EMI	

心電 ●	心拍数	65 bpm	ミナコト	107 108
		101 102	103 104	105 106

血圧 ●	最高血圧	最低血圧	脈拍数
	1回目 120 mmHg	65 mmHg	73 bpm
	2回目 121 mmHg	66 mmHg	74 bpm
	○2		
	○3		
	○4		
	○5		

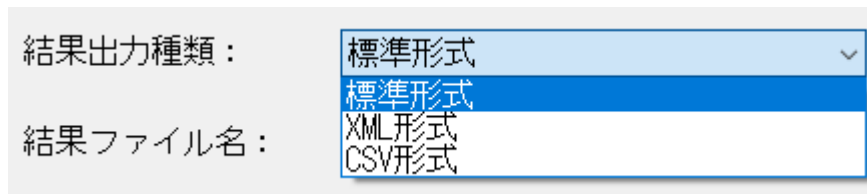
複数血圧(平均) ●	118 mmHg	70 mmHg	68 bpm
----------------------	----------	---------	--------

眼圧 ●	右 11.0 mmHg	腹囲 ●	61.5 cm
	左 10.3 mmHg		

尿分析 ●	糖	
	蛋白	
	潜血	

8.8.8. 結果ファイルの出力形式選択

『設定画面』⑫では、出力される測定結果ファイルの形式を3パターンから選択することができます。



・標準形式

エー・アンド・デイ標準仕様の CSV ファイルを出力します。

結果出力フォルダにて設定されたフォルダに、「KekkaYYYYMMDDhhmmss.csv」ファイルおよび同名の制御ファイルが CTL 形式で作成されます。

・XML 形式

XML 形式のフォーマットです。

結果出力フォルダにて設定された共有フォルダに、ID を3文字ずつ区切り、全角に変換したフォルダを作成していきます。その一番下のフォルダに「YYYYMMDDhhmmss.xml」ファイルが作成されます。

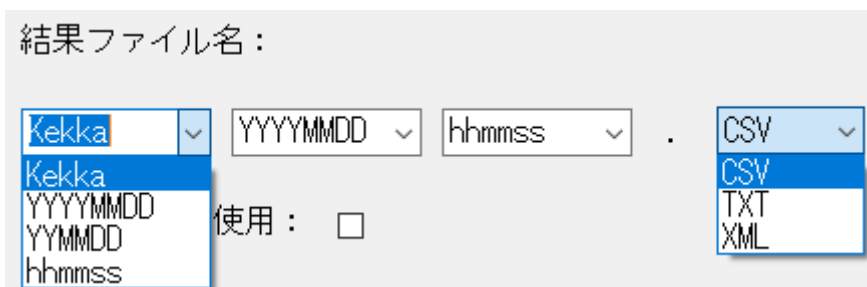
ID「12345678」の例: ~¥1 23¥456¥78¥YYYYMMDDhhmmss.xml

・CSV 形式

結果出力フォルダにて設定されたフォルダに、ファイル名や項目内容、項目の順序などを自由にカスタマイズ出来る CSV ファイルを出力します。

8.8.9. 結果ファイル名設定

『設定画面』⑬は、結果ファイルのファイル名をカスタマイズする際に使用します。この設定は、前項の結果出力形式を CSV 形式にすると設定できるようになります。



上図のように、あらかじめ選択リストがありますが、任意の文字列を入力することも可能です。

※ 入力できる文字列は各枠につき8文字ずつまで

また、ファイルの種類(拡張子)は「CSV」、「TXT」、「XML」から選択可能です。

※ ファイルの種類で XML を選択しても、ファイルの中身は CSV 形式のままです。

8.8.10. 制御ファイル使用の切り替え

『設定画面』⑭にチェックを入れると、結果 CSV ファイルを作成する際に、同一ファイル名の制御ファイル「*.ctl」を作成します。また、属性 CSV ファイルを受け取る際は、同一ファイル名の制御ファイルがないと属性データを読み取りません。

制御ファイルでのやり取りが必要ない場合はチェックを外してください。

制御ファイル使用：

8.8.11. ダブルクォーテーション付与の切り替え

『設定画面』⑮にチェックを入れると、結果 CSV ファイルの各項目をダブルクォーテーションで囲みます。


ダブルクォーテーション付与：

例: "AND","20190725","103714","12345678",...

8.8.12. 視力0.1未満の出力文字列設定

『設定画面』⑯では、視力の値が 0.1 未満だった場合に出力する文字列を指定することができます。あらかじめ選択リストがありますが、任意の文字列を入力することも可能です。

視力0.1未満の出力文字列：

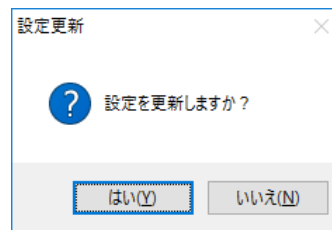


FF
FF
0.0
0.1
0.01

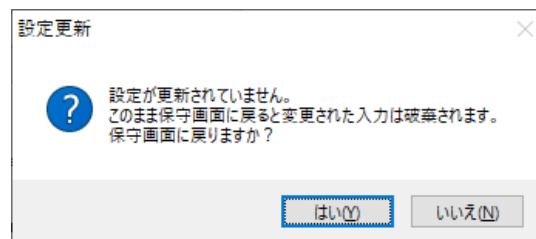
8.8.13. 設定の更新

『設定画面』で設定を変更したら必ず画面下部の[更新]ボタンを押してください。

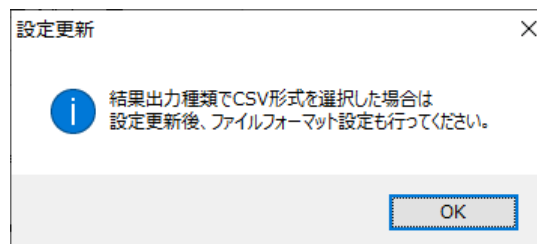
下図のような確認のダイアログが表示されるので、[はい]を押してください。



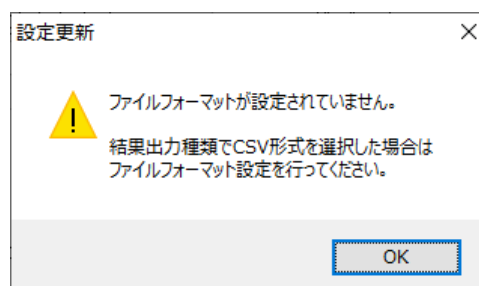
更新ボタンを押さずに[保守画面]へ戻ろうとすると、下図のようなダイアログが表示されます。設定を更新する場合は[いいえ]を押して、更新ボタンを押してください。



『8.8.8.結果出力種類』で CSV 形式を選択した際に[更新]すると、確認ダイアログに続けて下図のダイアログが表示されます。



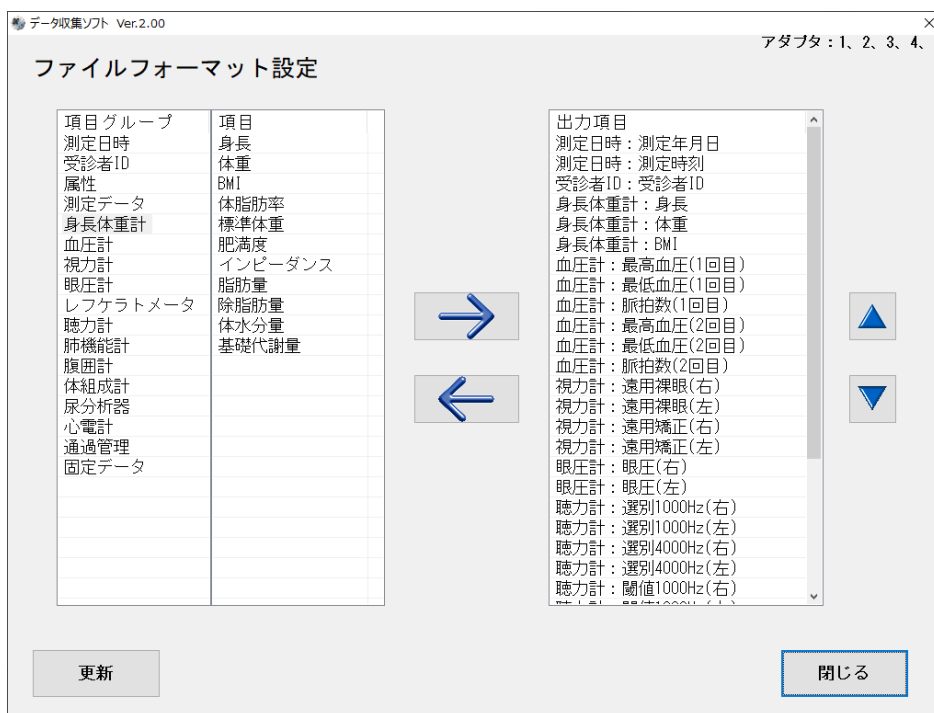
また、CSV 形式で[更新]した後、[ファイルフォーマット設定]を行わずに[保守画面]へ戻ろうとした場合、下図のダイアログが表示されます。



結果出力種類で CSV 形式を選択した場合は、必ず次項を参考に[ファイルフォーマット設定]を行ってください。

8.9. ファイルフォーマット設定

『8.8.8 結果出力種類』で CSV 形式を選択した場合、[ファイルフォーマット設定]をする必要があります。『設定画面』下部の[ファイルフォーマット設定]ボタンを押すと、下図の『ファイルフォーマット設定画面』が開きます。



画面左の項目欄からグループを選択すると、該当する項目が項目欄に表示されます。この項目欄から出力したい項目を選択し、[→]ボタンを押すと画面右の出力項目欄に項目が表示され、結果ファイルとして出力されるようになります。項目は[Ctrl]や[Shift]を押しながら複数選択することも可能です。

項目を選択して[▲]ボタンと[▼]ボタンを押すことで任意の順番に入れ替え、不要な項目があれば[←]ボタンで削除します。並び替えが完了したら[更新]して画面を閉じます。

・測定データ

検査コードを出力する場合、標準形式で出力されるファイルは、1測定(1ファイル)1行での中にすべての検査コードと測定データが収まっていますが、1ファイルの中で1項目毎に行を変えて出力したい場合に使用します。

項目グループ「測定データ」を使用する場合、項目グループ「測定日時」、「受診者ID」、「属性」、「固定データ」以外の項目と混在は出来ません。

・固定データ

空白をデータとして出力したい場合、もしくは任意の文字列を出力したい場合に使用します。

8.10. 検査コード設定

『8.8.8.結果出力種類』が標準形式または CSV 形式の際に『設定画面』下部の[検査コード設定]ボタンを押すと、下図の[検査コード設定画面]が開きます。



この画面では CSV ファイルにて出力される各項目の検査コードを自由に設定することが出来ます。検査コードはデフォルトで数字が割り振られていますが、検査コード欄をクリックして任意のコードに変更することが可能です。

また、「身長体重計測定は行うが BMI の出力は不要」のように出力する必要がない項目については、測定項目を選択して、[出力無し]ボタンを押すと、検査コードが「9999」となり結果ファイルに出力されなくなります。測定項目は「Ctrl」キーや「Shift」キーで複数選択して一度に[出力無し]とすることも可能です。変更が完了したら[更新]を押して画面を閉じます。

結果出力種類が XML 形式の場合は検査コードの他に行番号とシーケンス No の変更も可能です。
運用に合わせて設定を行ってください。

データ収集ソフト Ver.2.00 アダプタ : 1、2、3、4、5

検査コード設定



測定機器名	測定項目	検査コード	行番号	シーケンスNo
身長体重計	身長	101	1	1
	体重	102	2	1
	BMI	103	3	1
	体脂肪率	104	4	1
	標準体重	105	5	1
	肥満度	106	6	1
	インピーダンス	107	7	1
	脂肪量	108	8	1
	除脂肪量	109	9	1
	体水分量	110	10	1
	基礎代謝量	111	11	1
血圧計	最高血圧(1回目)	001	1	1
	最低血圧(1回目)	002	2	1
	脈拍数(1回目)	003	3	1
	最高血圧(2回目)	004	4	1
	最低血圧(2回目)	005	5	1
	脈拍数(2回目)	006	6	1
	平均血圧(1回目)	007	7	1
	SpO2(1回目)	008	8	1
	体温(1回目)	009	9	1

9. 保守

9.1. 保守点検と安全管理

本機の始業前点検などの日常管理は、本機の性能、安全性および有効性を維持するために保守管理する必要があります。定期的な本機の点検をお勧めします。

9.2. 清掃

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 清掃を行う際は、必ず電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。■ 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。■ 本機の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。■ シンナ、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。■ 機器の清掃は病院やクリニックなどの定めた方針や手順をもとに、1 ヶ月に 1 回程度、以下のように行ってください。

液晶画面

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい場合は、柔らかい布に中性洗剤または消毒用アルコールを少量含ませて液晶部を軽く拭きます。液が垂れないようにしてください。

本体



機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

清掃するときは、水にうすめた中性洗剤または消毒用アルコールを使用してください。

血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

9.3. 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記のチェック表および次節のエラーメッセージ表に該当する現象がないかお確かめください。これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は弊社 ME 機器相談センターまでお問い合わせください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機の分解および改造はしないでください。 火災・感電の原因になります

データ収集アダプタ AD-6904A チェック表

現象	確認内容
画面が全く表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専用 AC アダプタは接続されていますか？
動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ エラーメッセージを表示していませんか？ 『9.4.1.AD-6904A エラーメッセージ』を確認してください。
通信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ COM1、COM2 の通信ケーブルおよび LAN ケーブルは接続されていますか？ ■ COM1、COM2 の接続機種は正しいですか？

データ収集プログラムチェック表

現象	確認内容
デスクトップの『データ収集ソフト』アイコンをダブルクリックしても、メニュー画面が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 既に、データ収集プログラムが起動済みではありませんか？起動済みであれば、画面が表示されるまでお待ち下さい。
測定結果確認画面で、ID リーダの読取操作をしても、ID が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ ID リーダの操作に間違いはありませんか？ ■ バーコードまたは磁気カードに汚れはありませんか？ ■ 正しい ID ですか？ ■ ID リーダの接続ポートおよび接続ポートの設定は正しいですか？
測定結果確認画面で、ID リーダの読取操作をしても、ID は表示されるが測定データが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 測定を行いましたか？ ■ 測定時と異なる ID ではありませんか？ ■ データ収集アダプタは正しく接続されていますか？ ■ データ収集アダプタの電源は入っていますか？
保守画面で、データ収集アダプタの IP アドレスがプルダウンメニューに無い。	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ収集アダプタが接続されていない可能性があります。接続および電源を確認してください。
保守画面で、データ回収の[接続]ボタンを押してもファイル名がリストに表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ収集アダプタが接続されていない可能性があります。接続および電源を確認してください。
保守画面で、データ回収の[開始]ボタンを押しても、データ収集アダプタ内ファイルのバックアップができない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ収集アダプタが接続されていない可能性があります。接続および電源を確認してください。

9.4. エラーメッセージ

9.4.1. AD-6904Aエラーメッセージ

コード	エラーメッセージ	エラー内容・対処方法等
No.1	外部メディアエラー	外部メディアに異常がある可能性があります。電源を入れ直してください。
No.2	COM1 設定エラー	COM1 に異常がある可能性があります。電源を入れ直してください。
No.3	COM2 設定エラー	COM2 に異常がある可能性があります。電源を入れ直してください。
No.5	設定ファイル読み込みエラー	設定ファイルが存在しない、または設定ファイルに異常があるなどが考えられます。設定画面にて、再設定を行い、電源を入れ直してください。
No.6	設定ファイル書き込みエラー	システムに異常がある可能性があります。電源を入れ直してください。
No.7	接続機器設定エラー	測定検査機器の設定が適切でない可能性があります。設定画面にて、再設定を行い、電源を入れ直してください。
No.8	COM1 受信エラー	COM1 の受信データに異常がある場合に発生します。本機の設定および接続機器の設定を確認してください。
No.9	COM2 受信エラー	COM2 の受信データに異常がある場合に発生します。本機の設定および接続機器の設定を確認してください。
No.12	HOST 受信エラー	TCP の受信データに異常がある場合に発生します。頻発する場合は、弊社までご連絡ください。
No.13	測定値ログ書き込みエラー	システムに異常がある可能性があります。頻発する場合は、弊社までご連絡ください。
No.14	画面表示エラー	システムに異常がある可能性があります。再設定を行い、電源を入れ直してください。
No.15	リストコマンドエラー	システムに異常がある可能性があります。電源を入れ直してください。
No.16	ファイルリスト作成エラー	
No.17	ファイル名取得エラー	
No.18	ファイルデータ取得エラー	システムに異常があるか、ネットワークが不安定な可能性があります。電源を入れ直しても頻発する場合は、ファイアウォールやネットワーク設定を確認してください。
No.19	ファイル削除エラー	システムに異常がある可能性があります。電源を入れ直してください。
No.20	時刻設定エラー	

注意



- 改善しない場合は弊社までご連絡ください。

9.4.2. データ収集プログラムエラーメッセージ

画面	操作	メッセージ	エラー内容・対処方法等
メニュー画面	終了ボタン	測定データの登録中です。 アプリケーションを終了しますか？	測定データのデータベースへの登録やファイル保存処理がまだ終わっていません。 しばらく待ってから、再度実行してください。
受診チェック画面	画面表示	ポート X がオープンできませんでした。ID リーダでの読み込み処理は出来ません。	ID リーダが、正しく接続されているか確認し受診チェック画面を閉じて再表示して下さい。
保守画面	開始ボタン	回収するファイルが選択されていません。	回収するファイルを選択して下さい。
	開始ボタン	以下のファイルは受信時にデータの欠落がみられたため、バックアップできませんでした。(ファイル名)	しばらく待ってから再度実行して下さい。
	接続ボタン	データ収集アダプタの IP アドレスを選択(または入力)してください。	プルダウンメニューから選択するか、直接入力して下さい。
	接続ボタン	指定した IP アドレスは接続されていません。	データ収集アダプタの接続および電源を確認し、再度実行して下さい。

9.5. 廃棄

本機の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体内部	筐体	ABS樹脂
	内部部品	一般部品
	基板上の電池	リチウム電池

内蔵バックアップ用電池

本機にはバックアップ用電池(リチウム電池)が内蔵されています。

廃棄の際には地方自治体等の指導に従って処理してください。

9.6. アクセサリ

品名	型名
AC アダプタ (1TB288)	1TB288
通信ケーブル (Dsub9F-Dsub9F、クロス、3m)	1KO4090-2000

9.7. オプション

品名	型名
バーコードリーダー	AX-BCR-RS232C
通信ケーブル 2m (Dsub9F-Dsub9F、クロス)	AX-KO1371-200
TM265X シリーズ用通信ケーブル 2m (Dsub9F-MiniDIN8M)	AX-KO1869
TM265X シリーズ用通信ケーブル 5m (Dsub9F-MiniDIN8M)	AX-KO1869-5000
通信ユニット TM2570-02 用通信ケーブル 3m	AX-KO3129-300
USB コンバータケーブル(データ収集 PC 用)	AX-USB-9P

10. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

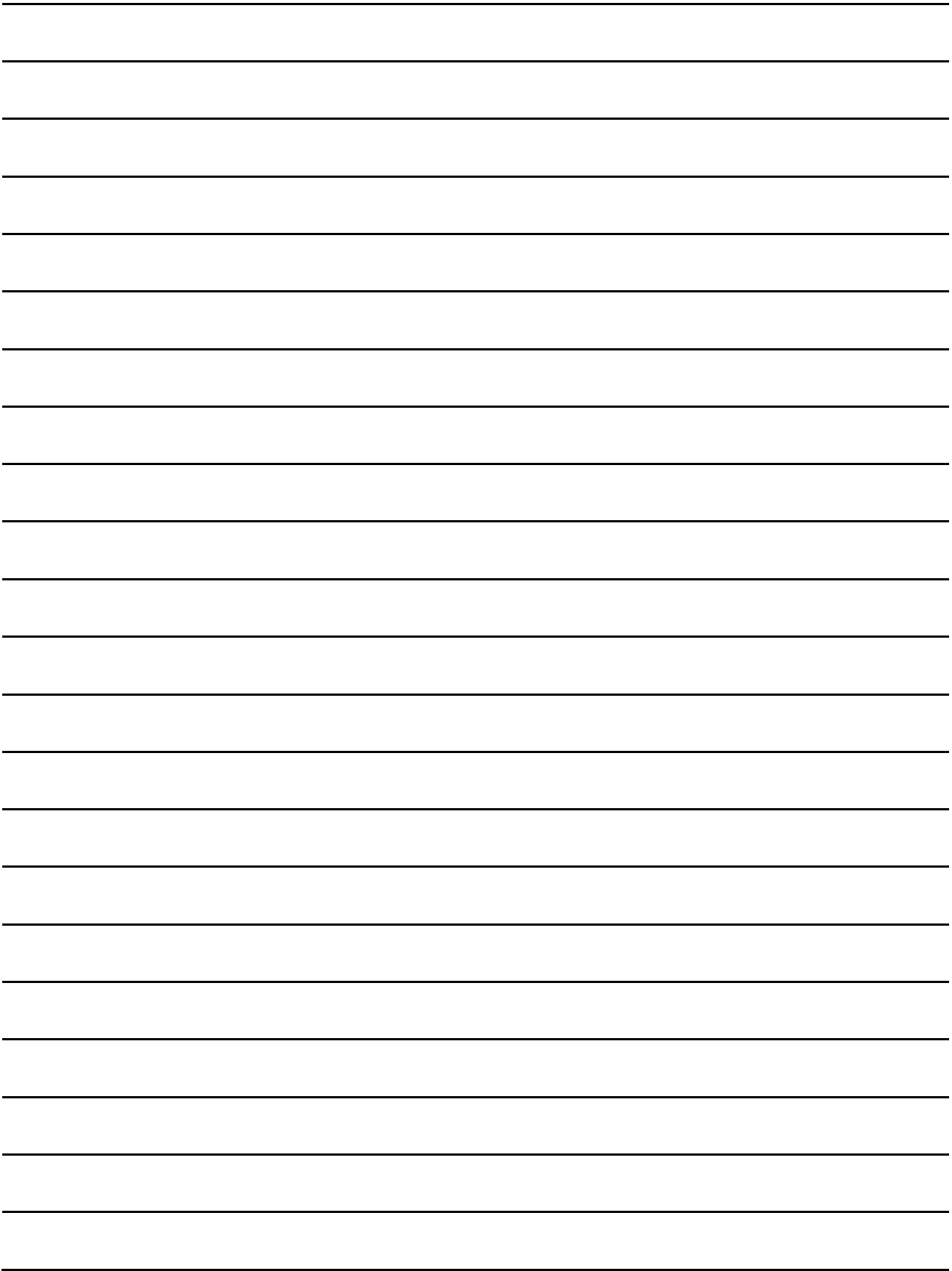
10.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項に従った正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体ご購入より 12 ヶ月

10.2. 保証規定

- (1) 正常な使用状態において、納入日より1年間、無償にて修理いたします。
- (2) 保証期間中に故障が発生した場合は、買い求め頂いた販売店または当社営業所にご連絡ください。修理のご依頼の上、裏表紙の保証書のご提示をお願いいたします。
- (3) 次の場合には有効期間中でも有償修理といたします。
 - 当社または当社が指定した業者以外による保守および修理に基づく故障・損傷。
 - この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
 - この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
 - 適切な保守点検を怠った使用による故障・損傷。
 - 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
 - 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
 - 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
 - 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
 - 火災、地震、水害その他の天災をはじめ故障の原因が本器以外の事由による故障。



製品に関するご質問・ご相談窓口

- 当社 ME 機器相談センターにお申し付けください。

お問合せ先

MEMO

<< 保証書 >>

通常のご使用において万一、不具合等が発生した場合、
取扱説明書に記載している保証規定によりお買い上げ後
1 年間は無償修理または交換いたします。

株式
会社 **エーアンドデイ**

◇お客様ご記入欄

☆無償修理のご依頼の際にご提示いただきますようお願いいたします。

販 売 名	データ収集アダプタ AD-6904A
製造番号 (S/N)	※ 梱包箱、機器裏面にシリアル No.または英数字による8桁番号で記載してあります。
ご 使 用 者 名 ご 担 当 者 名	
ご 使 用 施 設 名	
ご 住 所	〒 電話: ()
販 売 店 名	
お買い上げ年月日	年 月 日

※ 許可なく複写・複製することを禁じます。

※ 都合により仕様及び外観等を変更する場合があります。予めご了承ください。

メディカル機器に関するご質問・ご相談窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

ME 機器相談センター

電話 **0120-707-188**

通話料無料

受付時間: 9:00~12:00, 13:00~17:00, 月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがあります
のでご了承ください。

修理品の発送先

〒507-0054 岐阜県 多治見市 宝町9-19
株式会社エー・アンド・デイ ME事業本部FE課
TEL. 0572-21-6644

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14
ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

TEL. 03 5391 6127(直) FAX. 03 5391 6129

札幌出張所 TEL. 011-251-2753(代) FAX. 011-251-2759

仙台出張所 TEL. 022-211-8051(代) FAX. 022-211-8052

名古屋営業所 TEL. 052-726-8763(直) FAX. 052-726-8769

大阪営業所 TEL. 06-7668-3904(直) FAX. 06-4805-3901

広島営業所 TEL. 082-233-0611(代) FAX. 082-233-7058

福岡営業所 TEL. 092-441-6715(代) FAX. 092-411-2815

製造販売業者 株式会社エー・アンド・デイ
〒364-8585 埼玉県 北本市 朝日1-243

製造業者 研精工業株式会社

※電話番号、ファクシミリ番号は、
予告なく変更される場合があります。
※電話のかけまちがいにご注意ください。
番号をよくお確かめの上、おかけください。